



第455号 2012年1月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1  
 広大附高内アカシア会館  
 TEL & FAX 082-253-5581

次回は 通算 538回 例会

会長挨拶 

皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

3年前は「100年に一度の不況」、2年前は「2番底」といわれ、去年は東日本大震災があり、3年連続して大変な年となりました。本年も厳しい年になると思われますが、ピンチをチャンスと考え、明るく前向きに頑張ってみましょう。

さて、私は昨年7月のアカシア会総会において、石井泰行前会長より指名を受けて会長に就任いたしました、50回卒の向井恒雄でございます。皆さん

ご承知の様に石井前会長は幅広い人脈をお持ちで、人望も厚く、財政面でもアカシア会を永きに亘り支えていただきました。

私がお受けするのは大変僭越ですが、この歴史と伝統のあるアカシア会を良い形で若い世代に繋ぐショートリリーフとしてお受けする事にいたしました。

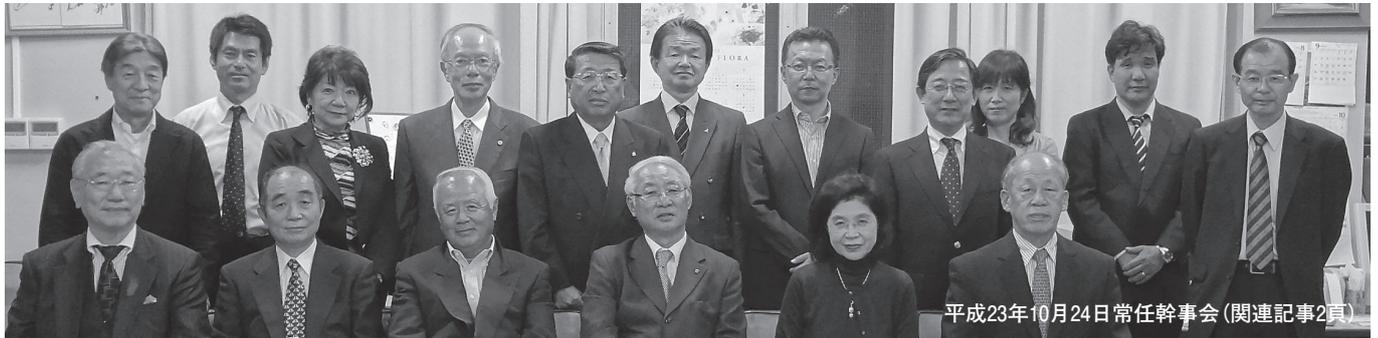
110周年にあたる2015年は一つの節目として、内向きなお祝いではなく、アカシア会を育てていただいた地域の皆様への社会貢献の場にしたいと思います。その中で今までの周年行事のノ



ウハウを若い世代に伝えて行きたいと考えております。

本年が皆様方にとられまして良い年になります事を心より祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

向井恒雄(50回)



平成23年10月24日常任幹事会(関連記事2頁)

広島アカシア会 1月例会(538回)のご案内  
 ~新年互礼会~

日時: 平成24年1月17日(火) 午後6時30分

場所: アンデルセン(本通)

「新年互礼会」

新年の決意を語り合ひましょう。

2月例会: 2月17日(金) 午後6時30分

場所: アンデルセン(本通)

「お天気キャスターのお仕事」

気象予報士 勝丸恭子氏(89回)

3月例会: 3月16日(金) 午後6時30分

※16日に変更となりますので、ご注意ください。

場所: アンデルセン(本通)

「未定」

広島アカシア会の懇親会費は4,000円(80回以降の卒業生2,000円)  
 アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越し下さい。

2012年版

アカシア会会員名簿

好評販売中!

1冊 3,600円

2011年10月に発行した黄色の表紙の名簿です。  
 お求めは同封の払込票で下記口座へご送金ください。

☎01300-4-13111「アカシア会」



Contents

会長あいさつ、月例会案内…………… 1	近畿アカシア会、東海アカシア会…11
思い出(石井泰行前会長)、常任幹事会… 2	岡山アカシア会、九州アカシア会…12
運営会費納入のお願い、地域代表者懇談会報告… 3	呉アカシア会、元教官の会……………13
アカシア夜話 田中昭男氏(旧教官)… 4	職域・クラブ・同期会だより…………14
田中昭男先生を偲ぶ…………… 6	村田裕彦氏(33回)のこと、ふるさとドクターネット、
友誼の御園…………… 7	野球班報告、会員名簿広告主一覧……………18
アカシア探検隊 谷みどり氏(65回)… 8	出てもうてもええかいのお話、ピバアカシアカップル、
いろいろアカシア情報、	アカシアライブラリー、訃報、事務局だより……………19
地域アカシア会だより東京アカシア会…10	12月例会レポート、月例会報購読案内…20

## アカシア会の思い出

石井泰行(43回)



全国アカシア会の会長を辞任したいとかねてから事務局へ申し入れていたのですが、昨年7月の総会で御諒承頂きホッとしているところです。

昭和22年に広島高等師範学校附属中学校に入学した時は、戦災で校舎もなく鉄筋コンクリートで焼け残った附属小学校の教室を使っていました。残っていたのは外壁だけで、硝子もなく、窓には板が打ち込まれ、1年A組の45名が薄暗い教室に入りました。

しかしA組は、暗い教室とは対象的に底抜けに明るい性格の者ばかりでした。当時の吾々は父親を亡くしたものの、母親を亡くしたものの、兄弟を亡くしたものの、学童疎開から帰ってみると一家が原爆で亡くなり孤児になったもの等々があり、同じ境遇という連帯感がありました。

私達の時から学区制が実施され、広島県の何処からでも受験できるのは附属中学か私学だけで、それ以外は地元の中学校へ進学するしか方法がありませんでした。私は広島一中が希望でしたが、こうした理由で一族郎党の中でただ一人、附属中学校に進学しました。

当時、千田町の学校の敷地にある木はニセアカシアで、43回の面々で一中志望だった者達は「偽アカシア会員」

と称していました。A組は私、マツダにいた落合(邦雄)君、坂から通っていた藤河君、大手町島外科の島一秀君、B組はABC放送だった黒田(昭夫)君、D組は山陽パルプの若井(尚)君、E組の児玉(幸治)君等々です。第一志望で附属を受験した連中が入学するのは46回くらいからではないかと思えます。

私に至っては一中の校歌・応援歌の全てを歌える特技がある始末です。ある時、第一生命相互グラウンドで附中と一中のサッカーの対抗戦があり、往年の名選手が集まって試合を行いました。我が附属は全日本監督の長沼(健)さん(39回)、東洋のパンサーと云われた木村(現)さん(39回)、43回の村上ショチ(處直)君もいたかな。一中組は東洋綿花社長の香川さん、マツダ社長の山崎さん、カーブ球団へ行っていた重松さん等々。試合は附属が快勝し、クラブハウスでの懇親会で、フジタ工業社長の藤田一暁さんが一中組に「磐梯山」を歌えと命令。歌が終わると附属の29回か30回位の方が「石井君、あの歌は良かった、もう一回リクエストで歌ってもらいたい」と云われて弱りました。あの歌は一中が負けた時に歌う歌だと、偽アカシアの私は知っていましたから。

またある時、茅ヶ崎のスリーハンドレットクラブで附属と一中のゴルフの対抗戦がありました。私達の組はアカシアが三井物産副会長の長(亨)さん(23回)と私、一中が三菱商工会長の田部文一郎さんと藤田一暁さん。グリーンへ出たら前の組のメンバーがたまたま三菱商事の諸橋社長でティーアップしていました。通称タナベの文ちゃんは、部下の諸橋さんに「俺たちが先に出るぞ」と云ってどけさせて御自分がティーアップしました。

「石井、どう思う。一中はすごいね、すごいね。」諸橋さん以外の3人の紳士がものすごい目付きで我々を見ています。そんな視線はなんのその、一中組は悠々と出て行きました。長さんと私は帽子をとって最敬礼をして出て行きましたが、二人ともスコアはメタメタでした。

築地に「榮家」という芸者の入らない料理屋がありました。9回の永野重雄先輩から電話があり、榮家の娘3人共、稼業を継ぐ気がないので「あの料理屋を運営する人を探せ」とのご命令です。直ぐに中州の料亭「喜可久」に走りました。当時の「喜可久」は、上物(建物)は自前でしたが土地は都有地で、何れ立ち退きを迫られることを知っていた私は、女将にその話をしたら大乗り気で、後日、午前10時に榮屋へ集まって話をする事になりました。

当日、永野重雄さん、12回の櫻田武先輩、12回の永野俊雄先輩、14回の伍堂輝雄さん、一中組の香川・東綿社長、田部文一郎さん、藤田一暁さん、岡田茂さん、末席に私が集まりましたが、午前10時になっても女将が現れないので電話をしたら「今日は日が悪いから行かないわ」と宣(のたま)う始末。冷汗を出しながらその旨を伝えたら、永野先輩は呵々大笑して「あの女将なら云いかねない。どうです、未だ早い飲み会に切り替えますか？」と飲み会に切り替えて下さり、ホッとしました。

附属の大物先輩に可愛がられ、さしもの私の中病もすっかりアカシア風呂へどっぷりとつかり、昔の不良学生が学校のお世話をするようになりました。

今、附属のオーケストラが凄いです。昔の広饗より音が良いのではないかと思います。75回の湯崎(英彦)知事も大変評判が良く、私も頼もしく思っています。会員の皆様の応援を期待しています。

## 常任幹事会開催される

平成23年10月24日18時30分よりアカシア会館にて、平成23年度下期全国アカシア会常任幹事会が開催された。7月総会で就任した全国アカシア会会長向井恒雄氏(50)の挨拶に続き、事務局長 甲斐稔氏(63)より常任幹事44名中出席者16名、委任状22名で定足数を得て、会が成立していることが宣言された。

**報告事項**：1.事業の進捗状況①会報発行②会員名簿発行③地域アカシア会との交流④会員動向調査、2.予算の執行状況、3.運営会費の納入状況、について報告があった。

**協議事項**：1.今後のアカシア会運営について、会の活性化には役員・常任幹事の世代交代を遂次行っているしくみ作りが必要で、その為には学年幹

事の役割が重要なカギとなることを確認し、今後検討していくこととなった。2.2015年4月に母校で110周年記念式を行うことが決定されており、アカシア会としての記念事業計画・準備に2年前から取り組む意向が示された。3.退会希望者について、退会・入会拒否は認められないとした上で、名簿への記載の制限などを名簿検討委員会で検討することとなった。

(当日の写真は1頁に掲載)

## 運営会費納入状況報告とお願い

すでにご案内のとおり、アカシア会の会則が改定されて、卒業後30年が経過している71回以前の会員から、「運営会費10,000円」を納入していただくことになりました(平成23年4月1日から施行)。7月発行の会報全国版に払込用紙を同封して納入のお願いをしていますが、11月8日現在の納入状況は、17回から71回の対象会員5,602名の内、1,800名納入済み(納入率 32.1%)となっています。納入いただいた会員の皆さまに深くお礼申し上げます。

現在の納入率は32%ですが、さらに納入率を高めるためには、同期会を中心に、地域アカシア会やクラブOB会等も含め、お知り合いの方への呼びかけが必要です。アカシア会の財政健全化のために、ご理解とご協力を改めてお願いいたします。

### ◆運営会費徴収のいきさつについて

すでに会報全国版2011年1月号と7月号に掲載しているとおり、アカシア会の財政は、毎年300~400万円の名簿広告費を集めているにもかかわらず、ここ10年、ほぼ毎年のように100~200万円の赤字を出しております。この原因は、旧会則で規定されていた「終身会費制」にあります。単年度の収支決算で何年も赤字が続いても、会費の値上げができるのは新卒業生(新入会者)のみ、となっていたため、平成12年以降(90回以降)の卒業生は入会金5,000円、会費10,000円を入会時に納めています。平成3年以前の卒業生

に対しては「卒業時に入会金1,000円、会費5,000円を納付すれば以降の維持会費は免除される」と定められていたが、実際には、会員1人当たり500円程度の年間経費がかかり、卒業時納付の6,000円は12年後に使い果たされ、それ以降の年間経費約500円は名簿広告収入と新入会員が納めた会費で充当する、という構造になっており、「終身会費制」は実質的に破綻して見直し、入会後30年以上が経過している会員に運営会費10,000円を納入していただくよう会則を改定しました。

### ◆運営会費の払込票が同封されている会員の方へのお願い

12月末日現在運営会費を納入していただいていない会員の方に払込票を同封させていただきました。アカシア会の財政を健全化し、次の世代が安心して会の運営を担えるよう、運営会費の納入にご理解とご協力をお願いします。

卒業回別納入者数(11月8日現在)

卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入
17回	1		45回	122	42
18回	2		46回	122	53
19回	3	1	47回	168	55
20回	1		48回	168	95
21回	1		49回	161	62
22回	4		50回	175	74
23回	4		51回	165	81
24回	5	1	52回	170	57
25回	8	1	53回	187	42
26回	6		54回	178	47
27回	6	1	55回	188	60
28回	8	3	56回	180	42
29回	18	6	57回	174	51
30回	16	2	58回	167	44
31回	17	3	59回	185	58
32回	20	9	60回	171	43
33回	24	11	61回	188	41
34回	32	9	62回	176	33
35回	34	14	63回	173	58
36回	42	9	64回	177	31
37回	32	13	65回	180	58
38回	74	26	66回	185	58
39回	53	12	67回	180	53
40回	81	30	68回	169	37
41回	82	33	69回	179	40
42回	78	20	70回	178	50
43回	161	89	71回	162	81
44回	161	61	合計	5,602	1,800

## 第4回地域アカシア会代表者懇談会



平成23年7月15日(金)16時から広島アンデルセンにて第4回地域アカシア会代表者懇談会が総会前に開催された。

当時の会長石井泰行氏(43回)の挨拶に続き、出席者の紹介がなされ、各地域アカシア会から近況報告が発表された。

東京アカシア会では活性化委員会を中心に若手会員が積極的に活動していること、同会公式ホームページの充実に注力され、学年単位や任意のグループで、書き込みが自由にできる仕組みで、コミュニケーションツールとして成果を上げていること、メールによる情報配信で経費を節減、名簿を隔年毎に出版し、採算性の向上に奏功したことが報告された。

岡山アカシア会では財政面も含め会長の大本榮一氏(27回)に支えられていること、毎年1回総会懇親会を開催していること

が報告された。また、岡山で同期会等があれば、協力できることがあるかもしれないので、事前に事務局に連絡いただくよう申し出があった。

近畿アカシア会では、総会懇親会を年2回開催、Eメールで案内し、若い会員が増えたものの、会費をとっていないため、財政面では厳しい状態との報告があった。

東北アカシア会からは、全国アカシア会から義援金に対するお礼と、当分の間休止状態が続いたが、今秋に総会を計画しているとの報告があった。会員の安否情報も全てが連絡あったわけではないが、生死にかかわる不幸な通知は現在まで寄せられていない。

九州アカシア会では、年2回総会懇親会を会報で会員に報告、認知度の向上を目指していること、昨秋の例会はジャズバー

を貸切、会員が主体のジャズカルテット演奏で盛況だったことが報告された。

呉アカシア会では、今年5月6日に設立総会が開催され、次期例会を8月7日に開催、呉市だけでなく周辺も含めた地域で参加を呼びかける方針であることが報告された。

東海アカシア会では、豊葦会と合同で総会懇親会を開催しており、地域の特性で会員が流動的であること、若手の会員が増加してきた一方で今まで主体であった会員が高齢となり、その次の世代の参加が少なく安定的な運営が課題であることが報告された。

広島アカシア会からは広島大学の附属学校に対する意見交換会のこと、6月7日に開催した学年幹事会のこと、新校長の紹介についての報告があった。

その他の事項として、卒業後30年の会費追徴の状況報告があり、全国アカシア会会長石井泰行氏から後任に向井恒雄氏(50回)を推挙することが述べられた。

最後に幹事長 大方幸三氏(46回)より閉会の辞が述べられた。

アカシア夜話 アカシアンナイト  
第8話

昭和40年代までのアカシア会は、組織は未成熟で事務局もなく、名簿の作成等も自前でできないような状況でした。

今回は、その頃を知る田中昭男先生に昨年の初夏にお会いし、アカシア会成立のころの裏話を伺ってきました。

## 創立60周年記念式典

創立60周年記念いうのを昭和40年(1965年)にやっとなんです。昔の記念式典は講堂で校長が話をして、それでアカシア会の代表とPTAの代表が話をして、開校記念日の歌を歌うて、はあ、それでお終いじゃったんですよ。

それへ行った連中が、藤居平一(24回)さんらを中心にして、「こんなあ、時々集まって、色々話をしようじゃないか」というのが、月例アカシア懇談会の始まりじゃから。確か、昭和42年4月17日に始めると思うんじゃ。それから月例アカシア会報はちょっと遅れて、昭和49年3月から発行しとる。これは、懇談会の機関紙として、附属のOBが結束していく為には、そういう機関紙も出したがええんじゃないかという事じゃった。これを頑張って作ったのが、松林孝昭(42回)、増田尚雄(43回)の若手二人です。これは、名簿と月例アカシア懇談会の会報を印刷するのに終始頑張った。松林君は特に、川妻(二郎・36回)さんの補佐という形じゃったんじゃがね。この二人の6年差が今もって引き継がれて、上下の幹事になっとる。

それで話をしていくうちに、これは創立70周年を盛り上げて、わしらが一つ計画してやろうじゃないかと。アカシア会でやろうということになった。それで、皆で相談をして、学校へ来んさったのが昭和49年の12月じゃ。藤居平一さんが川妻さんを伴うて来んさったのよ。わしは校長室におったんじゃが、やれやれ大事になるで思うての…。その年の4月から野地(潤家・昭49.4～53.3)さんが校長。菊地(勇・昭19.4～56.3)さんが副校長じゃった。中学校の副校長が高田(平八郎・昭17.4～52.4)さんだった。それにわしともう一人誰かが、とにかく校長室におったんですよ。そしたらね、来たんよ、平一さんが川妻さんを伴うての。

「相談があるが、ええかいの」というような調子で、前かがみで入ってきたよ。そしたら野地校長が「どうぞ、どうぞ」言うて。「ほうか、アカシア会をわしは代表して来たんじゃ。今日は、ひとつ協議をしたいことがあるので、よろしく頼む」と。それで最初に言われたのが、「70

周年の記念式典並びに記念事業を、アカシア会が独自でやりたい。まずその点について協力してくれるか、協力してくれるか。そこをはっきり返事を承りたい」と。その時に野地校長が、全面的に協力しますと、こうやったんです。今日の、学校とアカシア会の強い協力関係が、できあがったのはこれからなんよね。



田中昭男先生、平成23年6月18日

## 母校とアカシア会の関係

というのは、それまではアカシア会と学校は、ええ関係じゃなかったんよ。そこを校長が協力しましょう言うんで、それで終わった思うたんよ。ところが、その後が長いんじゃ。平一さんがやりだしたんよ。「この機会じゃから、わしは積年の学校に対する不満をぶちまけて言うけえ、よう聞いてくれ」と。やれやれ、これは来たわいと思うたんよ。

たとえば「学校は、学校を運営していくのに、教員の顔がPTAのほうへ向いとるんじゃないか」と。「アカシア会のほうは無視して、もっぱらPTAに依存している」と。これが現状じゃないかと。

そしたら、それは困るわの。現実にはそうじゃったんじゃから。それには経緯があって、加藤誠蔵(31回)さんのお父さんの加藤悦蔵さんというのがね、終戦直後の父兄団の団長だったんですよ。わしはもう耳にタコができるほど聞かされたんじゃけえ、加藤さんのおかげで校舎が復興したんじゃと。南側の校舎、北側の校舎、真ん中の校舎、と木造の校舎が3棟あった。

加藤悦蔵さんは材木屋さんじゃった。材木を集めてね、そして国やなんか金なんか出しゃあせんじゃけえ。金のない時代に。それはもう父兄団に頼るしかない。大学は文句を言うたぐらいいですよ。附属は勝手に校舎を建ててから、どうじゃこうじゃ言われた。じゃが加藤さんは、父兄団の力で復興をせにゃいけんよ。一日も早く東千田の昔の附属中学校があったところへ校舎を建てて、仮の校舎

## P r o f i l e

昭和2年1月6日広島市五日市町生まれ、20年10月海軍兵学校卒業(75期)、24年3月広島文理大学卒業、同年4月から52年11月まで広大附属中・高等学校教員、52年11月愛媛大学教授、平成元年4月広島県立大学教授、8年3月退職、平成23年9月2日ご逝去

でええから建てて、子ども達がここで勉強できるようにしたいというのが、加藤さんの信念じゃった。国は、本来、国立大学の附属でしょう。予算を出すべき責任がある。そがあなヒマ、ありゃあせんですよ、あの当時、昭和20年代いうたら。だから勢い、なんでもかんでも、父兄団(後のPTA)に頼ることになるんですよ、経済的に。国から出る金いうのははずかだ。じゃからしょうがない。学校は金を作って運営していかんやいけんのじゃから。PTAに依存するんですよ。

それで「PTAに依存して、なんでもPTAに相談をしてやっとなんじゃないか」と。こう平一さんから叱られるのも無理もない。

それで、「おっしゃることはよくわかります」と。決して同窓会としてのアカシア会を無視しとるわけじゃありませんが、今の経済事情から言うと、国立大学でありながら金がない状況だから、どうしてもPTAに依存する。PTAは金を出しますから、というような話だった。それで平一さんに言わしゃあ、なんぼ金を出しても、この子ども達が学校を卒業したら、PTAは関係ない。学校と関係なくなる。しかし、アカシア会は違うんだと。同窓会なんだから、これはもう終生、卒業したら同窓会。そこらは考えにゃあいいんじゃないか、というようなこと。そういうような話があつてね。これは筋は通つとるんです、ちゃんと。じゃから、こっちは嫌じゃとは一つも言わなんだ。それは違いますがと言われんんじゃない。

他にもなんぼかありましたよ。その中の、たとえば、具体的にアカシア会に協力的でないことの一つとして、アカシア会の会員名簿を作るのに、附属の先生が手伝ったことがあるかと、こうなった。これを作るのにね、それまでは3年に1ぺん出しよった。その頃、三浦泰生君(39回・国語S31.4～S52.3)とか片山一法君(42回・数学S38.4～H6.3)ら、附属のOBで学校の先生をしよったのが中心となつて、同窓会が手伝って作りよった。他の先生らは手伝わんでのお。これがね、ぜんぜん役に立たん。

ところが平一さんに言わしゃあ、生徒がどこの大学へ入ったか。大学を卒業してどこへ行ったか、一番知つとるのは、情報をよう知つとるのは先生じゃないか。先生がアカシア会の会員名簿を作る

のに、素知らぬ顔をすると何事かと怒られたよ。

それから、アカシア会が学校と話し合いをするときに、どこが窓口が分からんんじゃないか、というような話がその時にあったんですよ。そんなことが、この話し合いで一挙に解決した。

**創立70周年記念事業(使える名簿を作れ!)**

それから、アカシア会は70周年記念事業を計画した。永野重雄(9回・元日本商工会議所会頭)さんとか、櫻田武(12回・元日経連会頭)さんやらの協力を得てね。それを平一さんがやりだした。あれやろう、これやろういうことでね。わしはそばで見とったけれどもね、すごい、思うてね。まあ、いけんと思うたら一喝じゃけえ。鶴の一声いうのは、まさにこれじゃと。



藤居平一氏 昭和57年月例アカシア懇談会にて

それで昭和50年(1975年)になって、学校の運営機構を抜本的に改革しようということになって。その時に、総務部いうのを作ったんです。それまでの教務部いうのが、ちょっと負担が大きすぎるから、総務部を作って従事させようと。総務部がアカシア会の窓口として仕事をすると、そういう運営機構を改革したんです。その初代の総務部長になったのが、わしなんだ。

総務部は、70周年の記念事業の全部の窓口じゃから、それを明文化してあるわけですよ。「アカシア会に関する事」というのが、総務部の仕事の中に。

それから平一さん、川妻さん、それから松林君とか増田君とかいうのと心安くなったわけですよ。そして総務部の部屋がないんで、校長室の横にちょっと部屋が空いた。その狭い部屋じゃけど、ここを総務部にするということで、アカシア会が机を持ち込んだ。平一さんが、「おい、事務机を入れえ」というようなことで、「電話を引け」言うて、電話を引いて。それから職員を確か2人おいたと思うんじゃが。それでうても総務部の者が4、5人おるのに、それへアカシア会の事務机を入れて、アカシア会の電話を入れて、女の子を2人。ここにアカシア会会員名簿、創立70周年記念号という

があるでしょう、これを作れと。これは平一さんの命じじゃ。

今までの会員名簿はダメじゃ、なんの役にも立たんと。役に立つ、本当の意味の会員名簿を作れいうて作ったのが、これですよ。これが現在の、いわゆるアカシア会と学校との強力な関係を作ったきっかけでね。これで苦労したんです。

常任幹事の藤居平一さん、佐々木博文(29回)、川妻二郎、片山一法、松林孝昭、増田尚雄、これらが中心になってやった。学校側は菊地さんとわしじゃ。これを12月までに出せ、言われたんじゃけ。これはね、本当に大変な仕事じゃったんじゃけえ。最初、これの一つ作ったらね、あとはみやすいんですよ。あとは右へならへでいきゃええんでね。今のような、こういう立派なものができとりますけれども。これの元になったのは、これじゃけえ。じゃけえわしには、これは大きな仕事じゃった。

平一さんにはよ一ヶえ頼まれたけど、褒めてもらえたのはこれだけじゃ。

**高級官僚を励ます会**

昭和51年に、高級官僚を励ます会というのを築地の河庄とかいう料亭でやるとるんですよ。平一さんが「田中君、お前ついてこい」言うて、こうじゃけえ。わしはカバン持ちでの。それで「ええか、賀茂鶴2本、それからもみじ饅頭1箱持って行け」。そう言われて、別に金を預かった訳でもなんでもないのよ。それで、わしは土産を持たされての、汽車に乗って。「ここへ座れ」言われて。東京へ着くまで、ずっと説教じゃ。どうじゃ、こうじゃあ、とのお…。

それで賀茂鶴ともみじ饅頭をさげて、井内(慶次郎、32回)さんの所へ行っったんじゃけ。当時、学校関係者で井内さんいうたら、天皇陛下みたいな人じゃった。文部事務次官じゃけえ。それで、「田中君、ええか、こういう所へ来ての、これはお土産ですというようなことを言うもんじゃないの。ええか、部屋があるけえの、部屋の入り口にドアがある。そのドアの所へ黙って置いとくんじゃ。酒を2本、それともみじ饅頭を持ってきたのを



河庄で受付をする田中先生(左)と増田氏

黙って置いとけ。そしたらわかるんじゃ。井内さんはちゃんと、これは持ってきたのというのが。それで、なんにも言うな。平一さんに、そういうとこまで教えてもらうたですな。

**感 謝**

しかし、わしは平一さんには本当に感謝しとるんです。まあ村田(可朗、8回、当時のアカシア会会長)さんとか、原(幸夫、17回、当時の幹事長)さんも立派じゃったよ。立派じゃったから、原さんの言うことには、平一さんも逆らえなんだんじゃけど。

創立90年の時に、記念祝賀会の会場へ行っったよ。そしたら、増田君がおってね。「ああ、先生、来られる思うて待ってりました。藤居平一さんが来ておられます」言うて、平一さんのとこへ連れて行ってくれたの。それで、「藤居先輩、久しぶりですね、お元気ですか」いうてわしが言うたん。そしたら、わしの顔をじーっと見ての、それからしばらく、こうして見て。それで「田中君じゃないか。元気でやっとなるか」いうて言われたですよ。それでその時に、はあ昔の面影が無いの、思うた。もう、大粒の涙が出るばかりですよ。なんにも、もう無い。あとは、手を握っての。その翌年、逝去されたんじゃけえね。

じゃからわしはね、本当、現在の立派なアカシア会の基盤は、あの先輩達が苦労して作ったと。まあ、そう言っちゃなんじゃけれど。アカシア会と学校、学校が大きな顔をして、月例アカシア懇談会に招かれて行って、話ができたりするのね、実はやっぱり、そういう関係に持って行った苦労が有るんだということ、忘れてもろうちゃ困ると。わしが言いたいのは、そこですよ。

**編集にあたって**

昨年の春、是非、お話を伺いたいと、インタビューを申込み、6月18日にお会いしました。

用意した昼食にはほとんど箸をつけられませんでした。が、銚子1本を空けられるほどお元気で、顔色も良かったので、先生が抗癌治療を受けておられると聞いてはおりましたが、その時がお会いできる最後になろうとは、予想だにしていませんでした。

ここに掲載できたのはほんの一部ですが、亡き田中先生のお話をお伝えする役目を負わせていただいた事は、教え子の一人として、僅かながらも恩返しになったかと感謝しています。

\*\*\*\*\*

文責・編集：甲斐 稔(63回)

編集補：河本良子(63回)



平成23年9月2日、秋の夜がまだ十分に明け切らない時刻に、けたたましく電話が鳴って、私を驚かせた。急いで受話器を取ってみると、同じ町内に住む、田中昭男先生の長女里知さん(63回)から、「父が今朝3時30分に、広島大学病院で亡くなりました。」と告げるではないか。私は愕然として、しばらく茫然自失であったが、里知さんは落ち着いて、「ついさっき、自宅に連れて帰りました。」と続けた。

田中昭男先生が3年ほど前に大腸癌の摘出手術を受け、その後も抗ガン剤投与の治療のために、通院しておられることは、本人からも聞いて承知していた。今

# 田中昭男先生(旧教官)を偲ぶ

田中昭男先生を偲ぶ 小山 清(旧教官)

度もアカシア元教官の会総会への出席をお聞きしたとき、「盆は医者が休みになるので、しばらく入院して点滴をしてもらってくる。」ということであった。さすがに体力の衰えは隠しきれなかったが、気力はまだまだ相当に充実していることが感じ取れたのである。

私が昭和41年、広島大学附属高等学校に赴任したとき、田中先生は、40歳にして教務部長として、頑健な体躯と精悍な風貌とで、ばりばり校務をこなしていて、「ミスター附属」であった。海の物とも山の物ともわからない私を教務部に入れ、事あるごとに、「附属とは何か」を教えてくださいましたのである。後年、私は、附属の副校長をつとめ、『創立百年史』を書き下ろしたが、その大半は田中先生の薫陶に負っている。

その日、私は、家内を伴って、取りあえず数珠を手を持って、二町ほど離れた田中家に駆けつけたが涙が流れてしか

たがなかった。未だ弔問客は少なく、勝手に知った私が、そのまま仏間に通っていくと、ちょうど今から枕経が始まるころであった。私は、父親を幼少のころ失って、その感慨を知らないまま生きてきたが、自分を背後からしっかり支えてくれていた人を無くした悲しみが、胸にぐっと込み上げてきた。

早いもので、四十九日が近づいてくるが、夕方になると、ガラッと玄関の戸が開いて、「小山さん！居るか。」と声を掛けられる気がしてならない。私が居合わせると、玄関口に腰を掛けて、「わしはいまごろ『歴史』が面白くなってしかたがない。もう少し『芸藩通志』を借りてもいいか。」と言って、歴史談義が始まるのである。歴史ばかりでなく、広島県神社の氏子総代をつとめあげたのだから、恐れ入るばかりである。

(平成23年10月5日稿)

## 田中昭男先生の思い出

松尾康二(46回)

「敵艦隊見ゆとの警報に接し、連合艦隊は直ちに出勤、これを撃滅せん」とす

中学一年入学直後、授業のはじめだったか途中だったか、突然黒板に書きまくった。見事な楷書であった。

「これからがええんじゃ。」  
板書が続く。

「本日天気晴朗なれども波高し」

「天気がええということは、相手がよく見える、波が高いということは射撃の上手下手の差がはっきり出るということでの。わが連合艦隊は、ロシアの旅順艦隊が全滅したあと、十分に訓練する時間があつた。バルチック艦隊にはそんな余裕は無い。つまり、この日の合戦は勝ちましたと、参謀の秋山真之が大本営に報告したという事よの。」

当時は日本軍国主義大反省の時代である。ところが堂々と日本海軍の大勝利

を中学生に教える。こんなことが学習指導要領に書いてあるはずが無い。しかし歴史的事実は事実である。教えていけないとも書いてなかったはずだ。後年、司馬遼太郎が「坂の上の雲」で紹介するまで、この歴史的事実はあまり知られていなかったのではないかと。因みに先生は、旧日本帝国海軍海軍兵学校 在学中に終戦を迎え、実家に逃げ帰ったあと(「帝国海軍幹部候補生なら唯ではすまない」と言うことだったらしい。)教員の道を選ばれた。我々の近辺の世代はみんな知っているが、念のため。

田中先生の日常は常にこういう調子であった。乱暴のようではあつたが、正しいことは正しい、あれこれ持つて回る言い方をしない単純明快な正義感であつた。今振り返ってみると、我々の世代(先生在職中の世代はすべてそうで



63回生卒業アルバム(1973年)より  
前列左から2人目が田中先生

あつたと思うが)は、そういう単純明快な正義感を背骨に持っていたように思う。田中先生の最大の功績はそこにある。母校に新しい校風を吹き込んだ。「自由」は創学以来の校風であるが、「自律」を強化したのは、この単純明快な正義感ではなかつたか。

要するに「熱血教師」そのものであつた。「熱血教師」の定義どおり、時に怒り、時に泣き、生徒を誰彼なく一番可愛がつた先生であつたと思う。

〒733-0002  
 広島市西区楠木町2丁目4番3号  
**株式会社 立芝**  
 代表取締役 向井 恒雄 (50回卒)  
 TEL 082-230-3711  
 FAX 082-237-7222

**TATESHIBA**

私たちは、映像音響・情報通信・電気などあらゆる分野で豊富な実績と最先端技術でその実現に取り組んでいます。

## 友誼の御園 ～母校だより～

### 高校修学旅行（屋久島・種子島の旅）

今年度の高Ⅱ修学旅行は、中国(北京)と国内(屋久島、種子島)に分かれて実施しました。中国は現高Ⅲ(5月)に続いて2回目ですが、屋久島、種子島は今回が初めてですのでご紹介します。

#### 生徒の感想から

目で見て体験した島々の自然は、自分の想像をはるかに超えるすばらしさだった。海岸近くから見た広大できれいな海や、シーカヤックに乗りながら見たマングローブなど色々なものが印象に残っているが、そ



屋久杉の前で

の中でも一番心に残っているのはやはり屋久島での登山だろう。登山の途中で見た様々な木々や川の迫力に驚き、さらに頂上の縄文杉のその他を圧倒する存在感に感動した。自らの足を通して、屋久島の壮大な自然の凄さが伝わってきた。

心温かい島の人々やガイドの方に教わったことを含め、自分が感じたこと全てがこの研修がとても有意義なものであったことを示していると思う。自分で見て体験することのすばらしさを改めて感じる事ができた修学旅行であった。

川口 翼 (高校Ⅱ年)

#### 屋久島・種子島の旅

- 11/21 うみがめ館・永田いなか見学
- 11/22 世界遺産の島「屋久島」(白谷雲水峡 フォトレスウォーク・縄文杉トレッキング・ハンドクラフト・紀元杉・ヤクスギランドから選択)
- 11/23 鉄砲伝来宇宙開発の島「種子島」(宇宙科学技術館・種子島宇宙センター・シーカヤックでマングローブ体験)
- 11/24 鉄砲館・維新ふるさと館見学



種子島宇宙センター

### SSH スーパーサイエンスハイスクール 2011



◆課題研究論文集第Ⅶ巻が発刊されました。今年度も、生徒たちは各分野の研究発表会で課題研究の成果を発表しました。

◆10月2日(日)には、明治大学で「高校生による現象数理学研究発表会」が開催され、「広島都市圏における交通需要推定」(江原至)が最優秀発表賞を受賞しました。交通需要推定とは、ある地域内で人がどこからどこへどのような手段で移動するのか計算で求めることです。研究では、広島市周辺をモデルにして交通条件を変化させたときの影響を推定しました。

◆「第9回高校生科学技術チャレンジ(JSEC)」では、12月3日(土)、日本科学未来館にて、全国から第1次審査を通過した30チームの研究について最終審査が行われ、「しごかれてできる『巻き』の研究」(松岡佳那、中村香織、松井美樹)が「協賛社賞(JFEスチール賞)」に選ばれました。

紙テープなどを巻きつけたときにできる巻き癖のしくみやその原因についての研究で、本校生徒のJSECでの受賞は初めての事です。5月にはアメリカで行われる世界最大級の科学技術コンテストである「国際学生科学・技術フェア(ISEF)」に派遣される予定にもなっています。



(朝日新聞社JSEC事務局提供)

◆第55回広島県科学賞においては、5年連続学校賞(広島県知事賞)に選ばれ、県で特選となった「ガラスを伝う雨粒のキ・セ・キ [軌跡]」(片島由莉、川原成美、宮崎悠斗)は日本学生科学賞入選1等、「水を沸騰させたときに聞こえる音について」(佐藤真由、黒西愛)は入選3等となりました。また、「ワームグランティングのしくみを解明するーミミズはなぜ地表に出てくるのかー」(佐藤祐輔、中島潤、下山佳織、戸田千尋、村越千恵)は県で準特選に選ばれています。

◆「第10回神奈川大学全国高校生理科・科学大賞」では、「風紋に見られる周期的なパターンの数学を用いた再現と解析」(驥本憲広、永島史悠、三田善志郎、渡佑也)が大賞、優秀賞に次ぎ努力賞に決定し、3月には授賞式、神奈川大学から出版予定の「未来の科学者との対話X」に研究内容が掲載されます。

# アカシア探険隊

M1・2012(冬)  
～経済産業省潜入の巻～



65回 谷(和田)みどり氏  
～経済産業省 商務流通グループ  
消費者政策研究官～

中：「お～い、世の中いろいろ大変なことばかりじゃけー、誰かに良おしてもらわにゃーな。」

谷口：「…ボスは今度も何かたくらんだるみたいじゃ。先輩！私はなーんも悪いことはしとりません。それに私は頭痛と歯痛と腹痛が同時に来てどうにもなりませんよー。」

中：「なんじゃ、まだ何にも言うとりもせんのに…。わかった、わかった。今回はワシー人で行って土産を買ってきてやるけ、土産代をよこせ。」

谷口：「耳も痛うて聞こえません」ということで、今回は消費者の立場に立って助けてくれそうな谷みどり氏(65回。旧姓和田)を訪ねて東京に一人で行ってきました。

谷氏は記者より一年先輩なのですが、高校で留学し、Ⅲ年の2学期3学



期は同期生でした。東大に進学後、通産省に入省。IEA、内閣官房、環境省と省を跨って能力を發揮され、初の専門スタッフ職として消費者の味方となり大活躍、大学院の非常勤講師も務められています。



中：慣れん記者ですが、よろしゅう。  
谷：お久しぶり。今日は見出しが谷と

谷になるかと心配してました。

中：そうなんです。谷口は頭痛と歯痛と陣痛でどうにもなりません。

谷：……？

中：生まれは翠町なんですね。

谷：中学の途中で五日市に引っ越すまでは、ずっと翠町でした。私の名前は町名からつけられました。当時は出生届けの際「翠」が人名漢字として認められなかったので、ひらがなで届けたそうです。

中：なるほど。引っ越したら学校まで遠くなって大変だったのでは？

谷：広電の宮島線と3番線を乗り継いでね。時間はかかるけど、同じ路線で帰る友達とおしゃべりするのは楽しかったですね。あと、通学中に語学を勉強するのが身に付きました。大学時代や入省後も、語学は電車内で勉強しました。

中：僕と大違いですね。電車に乗ったら直ぐ眠れます。クラブ活動は何を？

谷：中学・高校とも合唱班でした。歌うのもピアノ伴奏をするのも大好きです。それから、クラブではなかったのですが、高Ⅰの時、有志で影絵の人形劇をやりました。発起人として、広大の人形劇サークルに技術指導を乞いました。中学での上演の要請もあったほど好評でした。

中：有志でやるとはすばらしい。

谷：Ⅲ年になって、米国ボストン郊外の歴史あるミルトンアカデミー高校に留学しましたが、そこでも合唱やミュージカルをしました。東大に入学したら、当時は女子が極端に少なく、文化祭ではクラスで女子大と組むため東大の女子は参加できないという風潮があり、不満でした。そこで五月祭では学部を跨いで女子を集結し、「ベルサイユのばら」を上演しました。女子だけの企画は東大初で、ベルばらの作者の池田理代子氏も見に来て下さいました。私は脚本と演出を担当し、法学部の早稲田美



## P r o f i l e

昭和30年5月2日広島市翠町生まれ、43年広島市立皆実小学校卒業、46年広島大学附属中学校卒業、49年米国ミルトンアカデミー高校卒業(AFSによる一年間の留学)、50年広島大学附属高等学校卒業、54年東京大学経済学部経済学科卒業、同年通産省入省、61年米国スタンフォード大学政治学科修士課程を修了、平成5年通産省通商調査室長、6年同省通商広報室長、7年同省資源エネルギー庁NEDO(新エネルギー産業技術総合開発機構)室長、8年IEA(国際エネルギー機関)国別審査課長、11年通産省地球環境対策室長、13年内閣官房副長官補付き参事官、14年経産省貿易振興課長、15年環境省環境計画課長、16年同省水環境部企画課長、17年経産省消費経済部長、19年同省官房審議官(消費者政策担当)、同年10月独立行政法人経済産業研究所上席研究員、10年7月経済産業省商務流通グループ消費者政策研究官、(東京大学公共政策大学院非常勤講師も)、

穂子さん(65回。今は水谷さん)も一緒でしたよ。また、東大・早大・東京外大のロシア語劇の合同サークルに参加し、チャイコフスキーのオペラ「エフゲニ・オネーギン」を東京外大で上演しました。

中：消費者運動もしたとか？

谷：高Ⅲの留学中に第1次オイルショックがあり、附属に戻って売店でノートを買ったら、すごく高くなっていて驚きました。東大に入学して学生に安く物品を供給するため東大生協の理事をやり、3年生の時は東大生協初の女子の学生委員長になりました。当時の消費市場にはいろいろ問題があり、これを正したいと思ったのも通産省を志望した理由の一つです。

# 株式会社 融合事務所

所属俳優



柳葉 敏郎



勝俣 州和

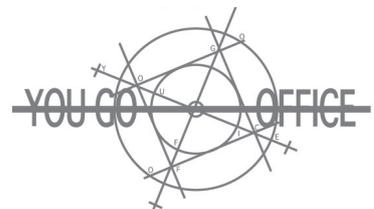


木村 多江



高橋 かおり

代表取締役 宮崎 忠 (66回)



<http://www.yougooffice.com/>

中：それは勇ましい。

谷：官庁訪問の時、産業行政も消費者の視点に立つことが大事と話しました。通産省ではエネルギー政策や中小企業対策、技術開発を担当したり、1994年版の通商白書を書いたり、対日直接投資を促進したりしました。環境省、IEA(国際エネルギー機関)、内閣官房も経験し、組織の垣根を越えて見聞を広めることができました。特に環境省では小池百合子大臣の下、「環境と経済の好循環ビジョン」の策定や2004年版環境白書の執筆などを通じて国民へのメッセージの出し方を学ぶことができました。水質汚濁防止法の執行も勉強になりました。その後、経済産業省消費経済部長に任命された時は、消費者政策にかかわれるのが嬉しかったです。

中：入省前の原点に戻ったんですね。

谷：本当に。その後、公務員制度改革でできた専門スタッフ職の第一号として、消費者政策研究官になりました。専門スタッフ職という制度を国民の役に立つものとするため、手腕を問われると思っています。外国の消費者政策や国際会議の議論を省内に紹介し、最近の消費者政策を一般に周知、広報するなどの仕事をしています。たとえば昨年11月3日付けのフジサンケイビジネスアイに載った「子どものライター事故を防ぐ」など、ネットで見られる記事もあります。日本の環境政策と消費者政策について作った英文の解説は、日本語訳付きのものも含め、経済産業研究所のホームページに掲載しています。また、消費者政策のほか、日本の環境政策、日本の立法過程、女性の働き方などについても、様々なところから依頼されて授業や講演をしたり、シンポジウムに出たりしています。

中：大学でも教えているんですか。

谷：専門スタッフ職は兼務が許されていて、私は東京大学公共政策大学院の非常勤講師も務めています。夏学期は「京都議定書を読む」という英語での授業をしています。受講者は留学生と日本人学生が半々です。京都議定書は、国際交渉の結果、玉虫色の文章になっています。これを読んで具体的な疑問点を見つけ、京都会議後の後の交渉結果から疑問への答えを探っていくことが授業の内容です。学生には毎回論点を提出させ、

グループディスカッションと発表を求めます。最後は各生徒が国を選んで、交渉ごっこをします。これは、私が川口順子環境大臣の下で国際交渉に携わった経験の一部を追体験させようとする試みです。毎年少しずつ改善を加え、もう3年目を迎えました。

中：授業スタイルも変わっていますね。

谷：この授業では、まず問題発見能力を重視します。整理された情報を与えられて覚えるのではなく、混沌とした情報の中から重要な点は何か判断し、問題意識を他の人と共有し、合意に向けて努力する経験をさせたいと思います。これには、異文化間のコミュニケーションの力も必要です。日本人同士だと、自分の意見でなくその場の空気を読んで発言しがちです。そうではなく、異質な相手と話し、お互いに賛成できなくとも理解し合えるよう努力する機会を提供したいと思います。

中：留学した影響もあったんですか？



谷：そうですね。スタンフォード大学に留学した時、授業の主眼が日本のような学問ではなく、実際の社会で役立つことに置かれていると感じました。政治学の教授にコンドリーザ・ライス先生(その後米国国務長官)がおられ、アメリカの政策によって世界をどう動かすかという問題意識に、感銘を受けました。

中：最近、製品安全や悪質商法の防止に注力していますね。

谷：経産省のホームページに掲載している製品安全ガイドの子供向け資料のまんが「みおちゃんとももるくんの製品事故から身を守るために」は、私が描いたものです。今、高校3年生が卒業前の2月3月に、製品安全や悪質商法についての教育を受けるようになってほしいと願っています。大学進学や就職で親元を離れた時、悪質な訪問販売やマルチ商法などの被害を受けるケースが目立ちま

す。独り暮らしを始めた若者は、悪徳業者にとってカモなのです。あるいはガス給湯器による一酸化炭素中毒などに遭うこともあります。それまで屋内型の給湯器など使ったことがなく、換気することを知らない若者が多いのです。取引の契約書や取扱説明書を読んで理解する力も必要です。母校にも是非勧めてください。

中：わかりました。掛け合ってみますよ。それから、現役の生徒たちへのメッセージをお願いします。

谷：社会に出て役立つのは、新しい環境に自分を適応させる技です。突然知らない分野の仕事をしなければならない時、本やその道にたけた人の話から知識を得たり、周囲の協力を得たりするための基本的な行動様式が身につけている必要があります。高校時代の人形劇では、人形や背景の作り方を大学生に教えてもらいました。合唱班は、仲間と力を合わせるよい機会でした。何かを実現したいと切実に思うことが、自分を動かすし、人も動かすのだと思います。そんな経験がたくさんできるといいですね。

中：アカシアのメンバーへのメッセージをお願いします。

谷：世の中を渡っていくためには相場観も必要ですが、その前に、自分は何が正しいと思い、何が間違っていると考えるかということ、しっかりと持っていていただきたいと思えますし、自分も常にそうであり続けたいと思えます。また、本当に大変だったと思う経験が自分を強くしていると思えます。1990年にイラクがクウェートを侵略した時、私は資源エネルギー庁の国際資源課の補佐で大変な思いをしましたが、この経験は、その後国際機関で働いたり国際交渉をしたりするとき、たいへん役に立ちました。

中：今後、消費者のために一層の活躍を期待しています。

中本泰弘(65回)



いろいろアカシア情報

◆東海アカシア会総会

2月19日(日)にいつもの白亜館葵店(名古屋市中区)で開催予定です。詳細は下記東海アカシア会事務局へ。

◆佐々木昭先生、瑞宝中綬章に輝く

2011年の秋の叙勲で、旧教官で静岡大学名誉教授の佐々木昭先生は、瑞宝中綬章を授与されました。先生は昭和24~25年・29年~40年、英語科の教諭として附属に在籍され、その後、静岡大学へ転任されました。現在83歳で、静岡市に在住

され、今回の授与では、国立劇場での伝達式・皇居での拝謁にもお元気で出席されました。大学在籍中からの英語研究・英語教育についての功績が認められたものです。とくに、中部地区英語教育学会設立と、14年間を会長として寄与されたことは高く評価されています。



脇 俊彦(52回)記

◆安部良氏(76回)2つの建築賞を受賞

一昨年香川県豊島に出来た「鳥キッチン」で、「バルバラ・カポキン国際建築賞(イタリアパドヴァ市で隔年開催)

2011年特別ディテール賞」を、スペインバルセロナ市で開催されたWorld Architecture Festival 2011において「WAF2011 World Culture Building of the Year」を受賞されました。

11月までに会員のみさまよりお知らせいただいたものです。「いろいろアカシア情報」で同期会・出版・その他、会員の皆様の情報を掲載させていただいております。ぜひこのコーナーをご活用ください。

各地域アカシア会のご案内

Table with 4 columns: 地域, 会長, 事務局, 行事予定. Rows include 東京, 近畿, 東海, 岡山.

Table with 4 columns: 地域, 会長, 事務局, 行事予定. Rows include 広島, 九州, 東北, 呉.

東京アカシア会 平成23年度秋季懇親会

日中の気温にも冬の訪れを感じる11月5日(土)夕刻より平成23年度秋季懇親会が、東京都千代田区のスクワール麹町で開催された。母校からは、古賀一博校長先生、隠善富士夫副校長先生、アカシア会からは向井恒雄会長(50回)、本年度幹事80回生の担任教師であった田中俊弥先生(現大阪教育大学教授)の4名のご来賓にお越しいただき、総勢114名の参加者が集った。

開会の挨拶は、大澤郁枝東京アカシア会副会長(52回)からは、的川泰宣東京アカシア会会長(50回)の急遽欠席となった理由と近況そして皆さんへのメッセージを、福田真東京アカシア会副会長(55回)からは東京アカシア会での交流活動の報告と学生さんに対し東京関連だけでなく広島関連企業の窓口サポートも就職相談会で行う予定であるなどのお話をいただいた。

ご来賓からは、古賀校長先生から母校の発展には同窓会との結びつきが重要であり、今後もさらなる支援のお願いに加え、母校の近況として野球班と管弦楽班の活躍ぶりをご紹介いただいた。続いて向井アカシア会会長からは、

就任の挨拶と今後のアカシア会の円滑な運営と財政の維持に関してのお話をいただいた。

その後は、松尾康二氏(46回)の発声により乾杯し、しばし歓談となった。会場は、会の盛り上げ役であるシニア幹事(64回)をはじめ、現役学生から大先輩まで、終始にぎやかに時が過ぎた。また、歓談中には、隠善副校長先生、中村英氏(57回)、大久保重伸氏(80回)から提供いただいた母校および周辺の写真をスライドで流し、新しく変わった風景や昔と変わらない懐かしい風景をご覧いただいた。

恒例となった抽選会では、賀茂鶴酒造様、カルビー様、広島東洋カープ様、博報堂プロダクツ様、スペースアルク様、医療法人健希会あいはらクリニック様、円谷プロダクション様より景品を提供いただき、バラエティーあふれる景品に加え、母校のロゴ入りグッズも抽選され大いに盛り上がった。

非常に盛況であった懇親会もお開きの



抽選会の様子



笑顔いっぱいの歓談の様子

時間となり、恒例のコールアカシアの方々を中心に参加者全員で肩を組んで大きな輪をつくり学生歌と校歌を斉唱した。その後、次年度幹事81回の紹介を行い、最後は、応援団長経験者の李昊氏(97回)の音頭で「フレイ・フレイ・ア・カ・シ・ア」のエンルを会場に響かせ、大盛況のまま閉会となった。

東京アカシア会活性化委員会では、次年度も懇親会のさらなる充実と幅広い世代の参加促進・交流の活性化に向けて準備を開始している。今後の東京アカシア会に是非ご注目ください。

11月13日

矢葺丈博・大久保重伸(80回)

撮影：兼重政徳(80回)



全員で「学生歌」、「校歌」

近畿発

## 近畿アカシア会 後期総会



今年も残すところあと1ヶ月となった11月の27日、話題の大阪ダブル選挙と時を同じくして2011年度の後期総会は開催されました。今年度の後期総会は例年の12月開催を11月末としたこともあってか、出席者が極めて少ない中での開催となりました。出席人数が少なかったことは残念ではありましたが、和食の創作レストランの一室で、1テーブル5～6人で従来より緊密で、「少数精鋭」での活気ある交流が出来たように感じられました。

司会進行役は私川村と光廣直史(96)で開会し、堀内重明近畿アカシア会会長(50)の開会挨拶に続き、この度アカシア会会長に就任された向井恒雄会長(50)に来賓挨拶をお願いしました。アカシア会会長としての今後の抱負と

共に、アカシア会の現状についてのお話の中で、近年は学年に1人程度卒業後アカシア会に入らない人が出てきているとのことをお聞きし、私達若手の近畿アカシア会員にとっても驚きの内容でした。アカシア会の集いの中では大学生活やアルバイトでは経験できないことがたくさんあって、年に2回しかない総会を楽しみにしているひとりとして、もったいない気がしました。

乾杯のご発声は今回も最高齢出席者である河原邑安さん(34)にお願いし、会食に移りました。食事は和食創作料理を主体にしたもので、ホテルでの会食とはまたひと味違った雰囲気の中で少人数ながらも大いに盛り上がりました。

宴たけなわの頃、昨年から採り入れ



た「しゃべり場」を開設し、各テーブルで「仕事観」をテーマに意見交換を行ないました。退職後?十年を経たメンバーや若手の入り交じったグループだけに種々の「仕事」に関する意見が続出しました。34回河原邑安氏の「欲を持たないことが元気に仕事をし、長生きする秘訣」という長寿の秘訣や、43回宮本真巨氏の南アフリカ駐在中カーブのことが気になり、毎晩テレホンセンターに電話していたら、「毎晩無言の国際電話をしている怪しいやつ」と警察当局の査察を受けたカーブ魂に溢れた面白エピソードが飛び出すなど、大盛り上がりでした。

今回は会場の関係で校歌斉唱もできませんでしたが、皇暢子副会長(46)による閉会の挨拶の後全員で記念撮影をして散会となりました。

**\*次回総会のお知らせ\***

次回総会は6月の第一日曜日(6月3日)を予定していますので予定表にご記入ください。

12月10日 川村美貴(97回)

**【前出以外の出席者】**

(38)川本和良、(41)戸田正弘、村田好正、(43)大上威雄、熊本直文、黒田昭夫、藤井侃二、(46)見門忠雄、(50)埴本勝司、(57)岡國太郎、(64)田頭史明、(97)徳永祐也、(101)奥田千春

東海発

## 東海アカシア会・豊葦会 ビアパーティー



この夏の自動車業界節電休日シフトが明けて最初の日曜日となった10月2日、東海アカシア会・豊葦会は、恒例のビアパーティー「夏バテをぶっ飛ばそう!」を開き、再会を楽しみました。場所は名古屋駅前のレストラン「パストランテ」。参加者は同伴者を合わせて23人となりました。

全員揃ったところで当会の写真をお願いしている中村博之さん(43回)による記念撮影。今回参加の最年長、鈴木文彦元会長(38回)が介添えの奥様の節子さんを伴いながら参加され、現会長を含めて会長4代が久々に集まることになりました。

その鈴木さんのご発声で乾杯の後、東海アカシア会・豊葦会沖信一会長

(55回)のご挨拶に引続き、ご来賓の全国アカシア会吉中康磨常任幹事(50回)より、全国アカシア会会長交代の件、最近の広島と学校の様子などのお話がありました。いつまでの昔のままの街ではないと分かってはいても、離れていると余計に、広島の街が変化することに驚かされます。

パスタや肉・魚料理・豆腐料理・サラダなど和洋中折衷料理を食べつつ、飲み放題のビールやワインなどを飲みながら、参加者全員より近況報告・思い出などが語られました。

今回うれしかったのは、91回の田中(旧姓原田)奈弥さんが初めて出席してくれたことです。東海地区に落ち着く若者組が少しずつ増えてきました。

87回の太矢文恵さんは、陶子ちゃん(2歳)と結子ちゃん(3ヶ月)を連れてわざわざ松本から参加。最年少の結子ちゃんの可愛らしい瞳と、妹のお世話をする陶子ちゃんのおしゃべりが皆を優しい気持ちにしてくれました。

高校卒業60年を迎え益々お元気な吉

本幹彦元会長(41回)に続き、中村さんから、この会が誕生した1961年から50周年となるのを機に、写真と資料をまとめていること、93歳で会の最高齢である西田節子さんが単身でハワイ往復をされたことについて報告がありました。

48回からは小田千恵子さん、花岡正紀さん、林滋さん、兼川徹さん、そして横浜から齊藤翁前会長の同期5人が今回も揃いました。

戸田弘さん(50回)、高岡義文さん(64回)、成瀬まり子さん(65回)、服部清美さん(72回)そして、石田充さん(93回)、山下寛泰さん(93回)から、趣味やボランティア活動、家族や仕事の状況など、全員で話し始めると、もう少し話したいという名残惜しいところでいつもお開きになるのです。最後に作曲家梶幸一朗さん(81回)の指揮による校歌・学生歌の合唱で締め括りました。

次は2012年2月19日(日)に東海アカシア会・豊葦会総会が開催されます。従来同様、「白亜館」でコースのフランス料理とワインを味わえますので、東海地方在住の皆さんは是非ご参加下さい。学生さんは無料です。

10月2日 佐藤哲郎(78回)

岡山発

岡山アカシア会 総会



岡山アカシア会では11月12日(土)に岡山プラザホテルに、長老の27回卒(90代)から100回卒までの32名が集まり楽しいひと時を過ごした。名物会長、大本榮一会長(27回)の明るさと人を惹きつける得体の知れない魅力で続いている年一回の懇談会である。今年は恩師の旧教員、村上一三先生をお招きした。また、アカシア本部からは吉中康磨常任幹事(50回)が来られ、広島市の四つの空き地の問題やアカシア会の今後、また活躍するアカシア、湯崎英彦広島県知事(75回)や河野俊嗣宮崎県知事

(73回)のことなどを興味深くお聞きした。そして卒業生が何より望んでいる母校の発展について、学業、軟式野球等の部活など期待できるとのこと、嬉しく思った。広島県内の広島大学附属校としての学校制度についてはいろいろな改革・変更があるかもしれないということで、卒業生としては気懸かりなところである。

ところで、岡山アカシア会は、大本会長のスーパーマンぶりにあやかりたい…という「したごころ」に支えられているところがある。会長いわく「60・70(代)ははなたれ小僧…90代の自分は青春真只中…」という訳で、参加者の半数を占める「はなたれ小僧たち」は90代の青春を目指している。それにし

ても、先輩方はなかなかいい。とてもお元気で美しい。やはり気力充実が秘訣であろうか。全員が近況や今の思いや考えなどを披露しながら会食を進めた。100回卒くらいになると、先輩方はいったいどうなっているのだろうか？と桃源郷はたまた異次元に迷い込んだような気分になっていることと思う。社会で活躍する会員たちがアカシアという場で、文化活動を誘い合ったり、何か協同して社会に貢献する話も出たり…など、懇親以上の成果を挙げているところもいいなあと感じている。

会長は、岡山・井原の著名かつ長命な木彫家、平櫛田中が120歳まで木彫を続けることができるほどの木材を準備していた例を挙げ、男盛りは100からというふうにお話された。心身の健康に留意して、またアカシアという社会との絆にこころを支えられてこれからもみんなが元気で集いたいものである。今年も、転勤などで岡山周辺に転居してきたアカシアを迎えることができた。岡山近郊に転居の際はご一報を。

来年度は2012年11月10日(土)開催である。

青木(吉長)三恵子(61回)

九州発

九州アカシア会第8回総会および懇親会



平成23年10月29日(土) 17:00より、キャナルシティ博多ビジネスセンタービル貸会議室において九州アカシア会第8回総会が開催されました。

総会は、9月30日にオープンしたイーストビルの喧騒を遠くに聞きながら、ビジネスセンタービルの静かな貸会議室で行われました。参加者は会員の奥様とゲストを含め34名でした。

広島から、新しくアカシア会会長になられた向井恒雄氏(50回)が来賓として出席され、会長新任あいさつをいただきました。

事業報告と会計報告・監査報告に続き、杉田脳神経クリニック院長 杉田

俊介氏(65回)による「脳卒中とその予防」と題した講演が行われました。

脳卒中の原因やタイプ、またどのような生活習慣が脳梗塞を引き起こすかなど、興味深い内容に参加者は聞き入っていました。「500mlのビールは週三日まで。それ以上飲酒すると脳梗塞の危険性が増す」と聞いて、参加者から「ビールは週三日、あとの四日は発泡酒なら大丈夫か」と冗談が出ていました。

ふだんめったに聴けない内容なので、ご夫婦一緒に初めて聴講された会員もおられ、「とても参考になった」「しっかりメモを取りました」と、参加者から感謝の言葉を多くいただきました。

講演会が終わり参加者全員の写真撮影の後、場所を地下1階のレストランクーリアに移し、懇親会が開かれまし

た。特別会員の中村重太氏による乾杯の音頭で宴は始まり、来賓のアカシア会会長向井恒雄氏から、広島の様子や母校の様子などをお聞きし、楽しい時間を過ごすことができました。向井会長からいただいた広島みやげのみみじ饅頭を、参加者は大事そうにポケットに入れて持ち帰られていました。

今回の懇親会はレストランの一角を借りた宴だったので、校歌斉唱や参加者の近況報告ができなかったのがすこし心残りでしたが、充実した講演と、初参加の会員も多かったのも、とても有意義な総会、懇親会だったと思います。広島から駆けつけていただいた向井会長様と、多くの参加者のみなさまに心から感謝を申し上げます。

山本哲三(61回)

【参加者】[旧姓] (卒業年次)  
中村重太(旧教官)、山中猛士(40)夫妻、森田[横山]邦子(49)、向井恒雄(50)、伊藤哲生(51)、中塚和夫(52)、八木聖二(54)、内萱(54)、千島良樹(54)、添田[小山田]寛子(55)、花栗[平本]美百合(55)、山本哲三(61)、豊原敏光(62)、河野[八木]操(64)、杉田俊介(65)、松本典之(65)、山口孝則(65)、岩國治(66)、佐藤英博(66)、谷正和(66)、三原太(66)、川上[竹末]祐子(66)、大原知夫(66)、奥本訓史(71)、田口健蔵(84)、江川知康(95)、野村周平(95)、木時綾(95)、古本政博(99)、山田雄也(99)、森田春香(99)、奥迫諒(100)、吉岡賢人(100) 以上34名

呉発

「呉アカシア会」遅れて発足



夏真っ盛りの8月7日(日)に、呉アカシア会の第一回目の会合が、45名の参加のもとに呉駅前、呉阪急ホテルで催されました。

呉アカシア会は、5月に呉地区で結成されましたがアカシア会総会への報告が必要で、7月15日に広島で開催された平成23年度アカシア会総会に参加され説明を行った新就任の大之木精二会長(43回)より、無事了承された事の報告があり、晴れて！呉アカシア会が発足の運びとなりました。

広島近在では、呉地区に多くの卒業生がいるにもかかわらずアカシア会が結成されていませんでした。アカシア会会員名簿上は100回生までで330名余の呉在住が記載されていますが、発足

に向けての、実質の所在把握に苦勞し、呉アカシア会参入への連絡が大変手間取りました。

発足の激励として、アカシア会の石井泰行前会長(43回)からご挨拶と蔵元からの冷酒の差し入れを頂き皆での懇談の具に使わせてもらいました。

他地区よりも大変遅れた、呉アカシア会発足の経緯の報告を奥村誠哉副会長(49回)が行った後、最近の興味ある話題に関して講演会が行われました。

原子力関連機器製造会社にお勤めの谷田部広志氏(65回)より「最近起きたことについて思う」と題して、福島原発事故の放射線について、専門家の立場からお話がありました。用意されたプリントを見ながら、放射能と放射線の違い、放射線の色々な物質とその性質、体への影響等について、しばし学生に戻った気分で話に聞き入りました。また、もし原発に頼らなくなる為には節電の必要があり、その対策まで話が及び、興味深く聞き入りました。



次に、アカシア会事務局長の甲斐稔氏(63回)の音頭で乾杯し、歓談。

その後、参加者最長老の島本隆視氏(32回)から、夏季休暇で帰省中の最年少大学4年大上真里奈さん(98回)まで参加45名全員が自己紹介及び近況報告を行いました。なお、島本氏は春に叙勲され、その記念にと会運営支援として金一封を頂きましたが、後日9月6日に急遽ご逝去され、貴重な志を生かす会に育てる責務が生まれたようです。近況報告の中には「ボランティアで行っている病院の雲の上の存在の院長が、後輩だと云う事が今日分かりました。明日から楽しくなります」等の面白い話も出て、楽しく過ごしました。

閉会に臨んで、66回生の5名のリードとカラオケCDで全員が校歌を歌い、最後に元東大応援団長の榎本良二氏(69回)のエールで皆の気持ちが一つに盛り上がり終了となりました。

10月26日 西村健二(53回)

「アカシア元教官の会」平成23年度(第20回)総会・懇親会



各列左から  
第4列 永田龍男、多田保行、南村俊夫  
第3列 山本克子、中本薩雄、大田勝司、室長犬應、三宅重徳  
第2列 笹原豊造、野中幹夫、田鍋薫、有田嘉伸、片山一法、太鼓矢晋、田中泉  
第1列 正田實、岩合一男、多山壽夫、野地潤家、磯員英夫、池田克文、三上昭荘、小山清

本年度の総会・懇親会は、8月22日(月)に、中区のメルパルク広島で、来賓に多山壽夫氏(アカシア35回)をむかえ、合わせて23名が参加して開かれました。

総会は、総会会長野地潤家先生(元校長)の開会の挨拶で始まり、議事では、幹事長の小山清先生(国語)により会務報告、7名の新入会員、4名の物故会員の紹介があり、つづいて、会計報告と監査報告について審議が行

われました。

議事に続いて、多山氏により、7月に刊行されたばかりの小山清著『多山栄次郎伝』に關して、講話

をしていただきました。

講話は、多山氏のご尊父で多山栄次郎氏(アカシア8回)が、附属在学中に野球部で強肩・強打の選手として活躍し、慶應義塾に進学してからは、当時輸入されたばかりのホッケーに熱中した話を中心でしたが、当時の附属では野球が盛んで、強豪の広商とも対等に試合したことがよくわかる内容でした。

懇親会に先立ち、この一年間に亡く

なられた定末誠治先生(保体)、横山道昭先生(理科)、名柄迪先生(英語)、松村幹男先生(英語)をはじめとする物故会員のご冥福を祈って黙祷しました。

懇親会は久しぶりに参加された磯貝英夫先生(国語)の乾杯で始まりまし

た。スピーチの部では、まず、今回初めて参加された大田勝司先生(国語)が「滋賀大学を定年退職して、広島に帰ってまいりました」と挨拶されました。筆者が「在学中に現国の授業を受けました」と紹介すると驚かれていました。

続いて3月に附属を退官されたばかりの笹原豊造先生(英語)が「元教官の会と附属の架け橋になります」と、頼もしい挨拶をされ、建物の改築など附属の近況を紹介されました。

そのあと、恒例になっていますが、参加者全員がひと言ずつ近況を報告しました。その中では、正田實先生(数学)が3月に東京で震災を体験されたお話が印象的でした。

楽しく旧交を温めるひと時となりましたが、岩合一男先生(数学、元校長)の挨拶でお開きとなり、来年の再会を約して別れました。

11月7日 田中泉(66回)

# 職域・クラブだより

## 県庁・市役所アカシア会交流会



広島では県庁と市役所は仲が悪いと長年言われ続けてきましたが、10月19日(水)に広島市中区のモーリーマロonzに66人(県28人、市38人)が集い、初めて県庁と市役所のアカシア会の交流会を行いました。会は、県側から湯崎英彦知事(75回)、市側からは谷博司会長(60回)の挨拶に始まり、県庁と市役所の分け隔てなく仕事の話や高校生の頃の思い出話などに花を咲かせ、なごやかなうちに会が終了しました。今後もこうした交流を一つのきっかけにして、県と市が密接な連携を図り、広島発展につながればと思っています。

11月20日 杉山亮一(75回)

## 県立広島病院アカシア会



平成23年6月24日、袋町の某所で第3回県立広島病院アカシア会が開催されました。県立広島病院には、医師・薬剤師・看護師等、61回生から95回生まで、総勢24名のアカシア会員が在籍しております。今回最年長の上田克憲氏(62回)の乾杯発声により会が始まり、参加者一人一人の思い出話に花が咲き、大いに盛り上がった会となりました。県病院のアカシア会員の絆を深めた、あっという間のひと時でした。

森川真吾(79回)

## アカシアサッカークラブ 現役戦・総会開催される



去る7月2日(土)、附属中学との現役戦及び総会が開催されました。最年長の44回大橋謙三さんをはじめ、総勢20名のOBが母校グラウンドに集合しました。天気も良く、ピッチレベルでの気温は、30度超えの中での試合になりました。試合の方は永井和夫先輩(60回)のゴール・現役附属教員の甲田大二先生のゴールなど、世代を超えていい汗が流せました。OBは若手とベテランの絶妙のバランスがあり、試合結果は3対0とOBチームの完勝でした。同日夜、26名出席のもと、総会と懇親会が開催されました。総会では、現役生の活動報告・3校対抗OB戦の報告など厳粛なムードで行われました。その後の懇親会ではそこはフットボーラー、和気あいあいの雰囲気の中、先輩方のスピーチで大盛り上がりでした。来年の懇親会には、20代若手の参加も期待しています。(恐くないから是非)

7月3日 平岡誠治(86回)

## アカシアサッカー三校OB戦開催



去る11月27日、恒例の三校対抗OBサッカー大会(国泰寺・修道・附属)が広島スタジアムで開催されました。本年度は国泰寺高校サッカー部が創設100周年という記念の年で、前日には450名出席の盛大な記念式典が開催され、アカシアから33回長沼博先輩、50

回野村尊敬先輩、51回小城得達先輩と私が来賓としてご招待いただきました。当日も往年の名選手など多くのOBが参集され、アカシアチームは44回大橋謙三先輩、49回大島治男先輩をはじめとする60歳以上の熟練パワー6名に、若手では96回生まで幅広いメンバーを擁し臨みました。戦績は対修道1-0、対国泰寺0-3、国泰寺対修道0-5で、修道OBが優勝されました。63回白井敬司先輩のゴール前まで走りこんでの鮮やかなゴールではベンチが総立ちになり、また54回横手靖吾先輩の闘志溢れるゴールセーブにはスタンドの観客からも歓声が起こりました。試合25人、懇親会16人(三校計60名)の参加で世代を超えた楽しい交流となり、43回吉田文次郎さんの中締めご挨拶で和気あいあいの宴も終了しました。来年度は、アカシアが幹事校です!秋口の開催となる予定ですので多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

11月27日 先本賢司(71回)

## 野球班OB戦報告



2011年8月14日、恒例の野球班OB戦が母校グラウンドにおいて行われました。今回は直前の7月29日に仕事上の事故で急逝した砂田龍吾氏(76回)の追悼集会も執り行われ、奥様と2人の愛娘さんにも参加いただきました。当日テントの下に祭壇を設け、笑顔の遺影と彼が現役時代着用していた背番号「5」のユニフォームを掲げ、花を供え全員で冥福をお祈りしました。3.11直後に行われた高校野球選抜大会での選手宣誓が話題となりましたが、野球に限らず何かに打ち込むことができる幸せをあらためて感じながら、生きていたらきっと出席していたであろう砂



## ヒトにうれしいコト。

これまで、みなさまに「おいしさ」で「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。「美しい音色を聴いて、心が潤う」ことも、「素晴らしい絵画を見て、心が動かされる」ことも、私たちの暮らしになくてはならないこと。これからも「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。

掘りだそう、自然の力。  
**Calbee**

田氏の分まで白球を追いかけました。  
西原利典(73回)

**中電アカシア会の懇親会を開催**



10月21日、附属中学校の壇泉副校長先生を来賓にお招きし、中電アカシア会の懇親会を広島アンデルセンのデンマークルームにて開催しました。

壇副校長先生には、母校の近況について、耐震補強工事やテニスコートの人工芝化など、少しずつリニューアルされていく様子を中心に紹介いただきました。生まれ変わる校舎の写真に触れ、参加者一同、在校時の思い出を振り返ることができました。42回卒業の大先輩から96回の新入社員まで、幅広い年齢層の25名の皆様に参加いただき、懇親会では、先生や先輩、後輩の間で、世代を超えて楽しい会話に花が咲き、あっという間の2時間でした。今年度も、58回熊野義夫会長(中国電力常務取締役)のもと、参加いただいた皆様、開催にご協力いただいた皆様のおかげにより盛會に開催することができました。この場をかりてお礼申し上げます。12月5日 古池信夫(72回)

**アカシア会書道班同窓会(墨友会)**



平成23年7月20日～26日、八丁堀の天満屋広島店画廊で久米公先生と先生の同期の森下氏の「二人展」が開催されました。60回の関谷康さんと65回の吉本貴水さんが幹事をして下さり、7

月23日(土曜日)午後6時より、福屋八丁堀店で書道班同窓会が行われました。何と55回から70回までの34人が集まり、書道班の伝統を感じました。会場では筆で、全員がひとりずつ「絆」の文字を半紙に書き、大きな紙に寄せ書きもしました。久しぶりの筆でも緊張しました。それから、久米先生とご家族を囲み、集合写真を撮りました。久米先生からは、書展の画録と先生の作品の「書」を一点ずつプレゼントしていただきました。「書」はそれぞれ異なる言葉で、みんな、それぞれの言葉をかみしめたと思います。先生のお話に、みんなが真剣に耳を傾け、その後、イタリア料理をおいしくいただきながら同級生・先輩後輩と話が弾みました。そして、いよいよ学年ごとに前に出て、一言コメント開始。当然一言ではすまず、高校時代のことや今のことなど、長い時間がかかりましたが、とっても楽しいひとときでした。アカシア会書道班でよかったと再確認し、まさに絆に感謝することができた同窓会でした。 高津玲子(61回)

**同期会だより**

**米寿！32回生クラス会だより**



本年、われわれ88才となり、目出たい年。昭和16年附中卒業時84名。現在生存者22名。クラス会に集まったのは10名、夫人を加え合計14名の出席であった。良く集まったと思う。東京1、関西2、九州1、広島近辺6名。約3時間それぞれの近況を語り合い充実した時を与えられた。これから残された日々互いに気遣い合い励まし合いつつ2年後又会おうと！欠席者の上にも思

いを馳せつつ。やった甲斐があったと思う。 8月2日 島本隆視(島本氏は9月6日に急逝されこれが最後の原稿となりました。ご冥福をお祈りします。)

**アカシア会44回生同期会**



アカシア会44回生同期会を去る9月26、27日の二日間の日程で京都にて行いました。我々44回生は2年ないし3年に1回の割合で同期会を開いてきましたが、その殆どは広島か東京での開催でして、京都での同期会は平成元年11月に行って以来、22年振り2回目の事でした。この会は第1回を昭和32年12月に広島で行ったのが最初でして、間が開いた時期もありましたが、今回は第13回目の会でした。26日当日は京都東急ホテルに北は北海道旭川から南は四国の松山・高知迄の各地から60名の同期生が集まり、夕刻6時から一次会・二次会と話を花を咲かせました。前回の広島での会から2年余りでしたが、集まった会員全員元気でしたものの、ご家族の事情で参加出来なかった方が居られたのは残念でした。二日目(27日)は好天にも恵まれ、午前中浄土真宗本願寺派の本山である西本願寺にて、真宗建築の特徴と桃山文化を色濃く伝えている国宝の建造物を、又1855年に再建された平安王朝の流れを汲む京都御所を拝観し、京都での新たな思い出が出来ました。拝観を終えて、ホテルでの午餐会を行った後、3年後の卒業60周年の同期会での再会を約して散会しました。 11月3日 内海直志

**アカシア49 on 琵琶湖**

10月23日(日)、24日(月)に49回卒業生の同期会が琵琶湖周辺で行われました。各地から43名が集まりました。初日には先ず外輪船ミシガンでの琵琶湖

**68回生同期会**

2012年の春～秋に東京で開催します。  
facebookの「アカシアベスト68の会」(AKB68)のサイトで、情報を流しますので、登録をお願いします。

68回生東京幹事会代表 **河本 上総**



広島市南区比治山本町14-23 沖本ビル1F TEL:(090)1017-0077  
ご連絡の上、この会報をお持ちくださった方に、小・中・高校生対象の無料体験レッスンをさせていただきます。  
青木 基香子(73回)



周遊、次いで琵琶湖ホテルに場所を移しての懇親会が開かれました。その席では、今年勲章を授章した山口邦明君にお祝いのお花束が渡され、山口君からは授章時のお話を聞かせてもらいました。その後近況報告などのスピーチがありましたが、段々グループ毎の雑談に変わってゆきました。2次会も同ホテルで行なわれ、昔話に花が咲いていました。2日目はカルビー湖南工場見学と信楽観光のグループ、ゴルフのグループ、京都見物のグループにわかれ、別々の行動となりました。カルビー工場見学では関係者の川瀬博之君や松尾雅彦君に何かと便宜を図っていただき、出来立てのポテトチップスを食べさせてもらったり昼食をご馳走になったりし、帰りにはお土産まで貰ってしまいました。次の信楽では宗陶苑の登り窯を見物したり、焼き物のお土産を買ったりしました。そして大津駅に帰り解散となりました。久しぶりに遠慮の無い仲間が集まったの楽しい同期会となりました。10月28日 佐々木義孝

51回生の記念式典



我々51回生は今年高校を卒業して50年を迎えた。これを記念して五クラスの世話人が昨年春より準備を始め、10月21日ANAクラウンプラザ広島ホテルに体育の恩師、中本薩雄先生(80才)を招いて集まった。同期生に配布する案内状には「青春をもう一度」というキャッチフレーズを書いて、郵送したところ、81名が集まった。挨拶の後、

岸本熙子さん、沖吉和祐君がリードするコーラスに全員が合わせ、「ふるさと」、「モミジ」、それに当時流行った「上を向いて歩こう」を歌ったが、これは同期生の一体感、連帯感を盛り上げたようだ。当時青春を謳歌した同期生はみんな頭はうすく、白くなっているが正に50年前の青春を思い出し、大いに飲み、語り合った。

11月1日 伊藤秀輔

感動の還暦記念同窓会(60回+)



記念同窓会を10月に広島で挙行了。前日のゴルフ、前夜祭、翌日午後の同窓会、後夜祭の4イベントである。同窓会参加者は87名。恩師12人のご出席を戴き会場に興奮と感動の渦を巻き起こした。続々と寄せられる参加者の感想によると、その後1週間は興奮さめやらぬ日々を過ごしたという。HP掲載の1500枚に及ぶ記録写真が感動を新たにした。思えば1年余り前、有志の胸に同窓会実現への想いが灯った。東京幹事団発足に続き関西と広島で幹事団を結成し役割を分担した。名称は「アカシア還暦記念同窓会」とし60回と併記せず(前後学年を含む為)に始まり、メールを駆使して必要事項を決定した。空間を超えた「熱き連携」が当日目にしたものは、40年余の歳月を経て味わい深き相貌となった参加者「全員」から立ち昇るオーラであった。その我々をお見せできなかった先生方も多い。田鍋先生の「堀先生は赤いちゃんちゃんこで『フレイフレイ附属』と、白神先生は白い実験着で、定末先生は優しい眼差しで千の風になって私達にエールを送っておられる」のお言葉に涙し、「想定外の社会の荒波を乗り越えた体にはガタがきているであろう。

還暦の節目を健康の節目とするようにに師の有難さを想った。さて、来年は関西幹事主催の企画です。ご案内を楽しみにお待ちしております。

11月18日 小松明子

アカシア会61回生 プレ還祝賀会



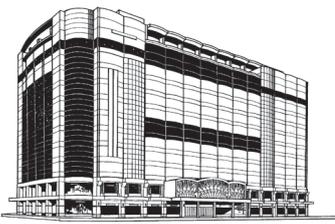
ひよんな事から、来年集まろうという話になったのは昨年(2010)の晩秋。私たちの学年にはMLがあり、なかなかディープな話で盛り上がったりする。ある時、誕生日おめでとうメールをしようと提案したところ、女子会記憶力は素晴らしい!○○さん、○○くん誕生日おめでとう…のメールがMLを賑わすようになった。お祝いメールを貰った人が返信して、寡黙な人もMLにちょっと顔を出す…。そんな私達だった。来年は還暦。前哨戦で盛り上がり、翌年、盛大に還暦祝賀会をやる、そんなことでもあった。好季節の10月1日~2日(土日)に倉敷で行う事とし、冬休みの間に、会場・ホテルを予約。ML上で、行くよ〜等々、メールが飛び交った。そしていよいよ楽しみに待った10月1日。午後から三々五々集まり、夕方「つねや」に集合。古い民家をそのまま使った店は、始まる前からどこか懐かしい。東京、関西、広島等から50名の参加であった。まずはこれまでに亡くなった友に黙祷。それから乾杯。「歳を考えなさい」とのおかみさんの諫めで「飲み放題」にはしなかったが、久しぶりなんて何の障壁にもならなかった。気分は高校生。席をあちこち動きまわり、どこでどれだけのおしゃべりがあったのか…。盛り上がりすぎて、何と18時から23時まで貸しきりにしてもらった。おかみさん、ありがとうございました。その後

Faithful & Friendly  
皆様の百貨店、Fukuya。



福屋八丁堀本店





福屋広島駅前店

はそれぞれに二次会。翌日は、ちょうど一般公開が始まった有隣荘(大原家別邸)を見学。その後「くらしきの宿 東町」で昼食。同時にゴルフツアーも行った。お昼ごはんを食べ終えても別れがたく、また、それぞれに散策したりおしゃべりしたり…。そして16時過ぎに、概ねお開きとなった。会える時に会っておこう、率直に昔の友達は会って嬉しい。ほんわりとした安心感と元気に包まれた二日間であった。

11月30日 青木三恵子

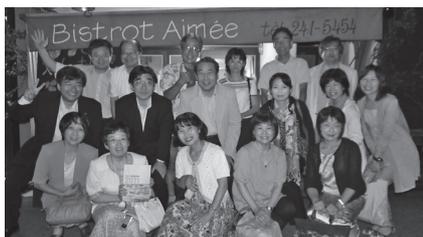
アカシア65 ナイター観戦



8月11日真夏のマツダスタジアムに65回生の懐かしい顔が一人また一人と集まってきました。我らがカーブの熱い戦いに声を嗺らして応援。その甲斐あってスカッとした逆転劇で勝利し、気分最高で二次会に！卒業式以来の再会というメンバーも参加してくれて大盛会でした。遠方からかけつけてくれた皆さんありがとう。故郷はいつでもみんなを待っています。カーブも来年こそは期待に応えてくれると思いますのでまた一緒に盛り上がりましょう！

櫻井光弘

67回同窓会



67回生も今年で53歳 卒業35周年学年同窓会の準備として、広島で有志が

8月17日月例アカシア懇談会のあと集まりました。場所は新天地のビストロエメ。集まった20人は、久しぶりの顔(当時とは、髪が減ったり、しわが増えたり)に、「誰じゃったかいの？」だらけでした。自己紹介が1周すると、気持ちも、表情も当時に戻り、学園祭や修学旅行のエピソードで盛り上がりました。現在の学校祭や、校舎の状況、自分の子どもや孫の話もでて、次回への期待が膨らむ会でした。3月には「修学旅行思い出の地巡り」を予定しています。

竹末耕三

72回生プチ同窓会 in 広島



以前作ってもらっていた72回メーリングリストを足がかりとし、総勢38名(偶然にも男女同数)と片山一法先生にもご参加をいただき、8月12日、中区千田町の料亭「久里川」にてプチ同窓会を開催することが出来ました。そもそも群馬の友人から「そろそろ卒後30年じゃない？お盆にお休みをもらって広島に帰るんだけど、同窓会があるんならそれに合わせて休みを取るよ。」との連絡をもらい、出来れば多くの同級生が集まればいいな～という軽い気持ちでスタートしました。想像を遙かに超える方々から連絡をいただき、準備中もその後もとても楽しい思いをさせていただきました。遠方からの参加や、ぎりぎりまで時間調整してもらったり、30年近く会っていない友、高校時代にほとんど話をしたことの無かった同級生とも、まるで修学旅行の続きでもあるかのような暖かな時間を共有出来ました。来年は高校卒業30年を迎えるそうです。正式な案内でより多くの同級生が集まることを祈念しております。この度はいい予行演習になっ

たと勝手に自負しております。懐かしさや募る話もあり、「久里川」さんの送迎バスにて、大挙して二次会へと街中に繰り出したのでした。

10月21日 小田義仁

78回プチ打上げ同期会



7月23日(土)の広島みなと祭花火大会で浴衣姿の女性たちが街中に彩を添える中、広島リーガロヤルホテルにてプチ同期会を開催しました。今回は広島アカシア月例会のお手伝い(下幹事)が3月で終了したことによる打上げ会の意味合いを込めての同期会で、20人が集まりました。参加者の中には、県外から一足早い夏休みを取得して帰った同期生や、広島には里が無くなったにも関わらず、在住先の海外からこの会に併せて広島に足を運んでくれた同期生の参加もあり、懐かしい顔ぶれが揃いました。集合場所のロビーでは、お互いが顔合わせる度に「みんな若ぶりで変らんね～。意外と苦勞してないんかね～(笑)」等々と、‘心と言葉’は一挙に附属時代にチェンジしました。その姿を見た広島育ちではない同行した娘から「お母さん言葉が変…」と指摘を受ける微笑ましい？場面もありながら、会食に入りました。会食では、隣の旧市民球場が半分取り壊された状況を見てびっくりした話からの弱いカーブの話、つい先日優勝したサッカーなでしこジャパンの話、家族や子供の話、甘くてすっぱい附属時代の昔話やらを話し合い、多いに食べて飲んで話して盛り上がりました。会食後は二次会で場所を最上階のスカイラウンジに移し、楽しい話は深夜まで輝く夜景をバックに続けました。

7月30日 三浦伸一郎



永く、正しく、美しく。

ポレスターマンション



POLESTAR

Beautiful Basic

武田 和久(79回)



35回 中村 優様より次のようなおたよりをいただきました。(2011年6月20日)

### 村田裕彦先輩(33回)について

職業軍人だった父の転勤によって、私が広島市に移ったのは、昭和12年の4月でした。最初に住んだ家は翠町にあり、旧制広島高等学校(現在の附属高校)のすぐ裏でした。

転居後まもなく、上品な奥様が訪ねてくれました。近くに住む陸軍の高級将校の村田さんの奥さんと、家族ぐるみの交際を申し込まれました。

私が皆実小学校の6年生だった昭和13年の8月に、村田夫人の提案で、父親を除く両家族がそろって、宮島線沿線の楽々園に遊びに行きました。村田家は長男の裕彦さんの下に、私より歳下の3~4人の妹さんがおられまし

た。

村田先輩と初めて会ったのは、その時で、村田さんは広島陸軍幼年学校の生徒で、そのいかめしい軍服姿に気おされて、私は声をかける勇気がなく、村田さんも何も話されませんでした。

村田さんは、幼年学校から予科士官学校を経て陸軍航空士官学校を卒業後、三重県の飛行場で訓練中、着陸した村田機の上に、操縦を誤った後続機が重なるように着陸したため、即死されたことを、戦後間もなく聞きました。また、父上は戦死され、母上は汽車で岩国駅(?)を通過中、米軍機の攻撃を受けて亡くなられたそうです。

村田さんが附中の先輩であったことを知ったのは、戦後数十年経ってからで、「アカシア会会員名簿」を見ていて偶然発見しました。

幸福そのものに見えた村田家が、戦争で両親と兄上を失い、残された未成年の妹さんたちが、その後どのような生活を送られたのか気になって、名簿に記載されていた連絡先に、早速手紙を出しましたが、転居先不明で返送されて来ました。

村田さんが附属中学校に在籍されたのは、1年生の時だけで、同級の方々がどの程度事情をご存知か分かりませんし、私は高齢(85歳)になりましたので、記憶していることをお知らせ致します。 中村 優(35回)

### 母校野球班秋季県大会優勝



第56回 広島県高等学校軟式野球大会

において母校野球班が4年ぶり3回目の優勝を果たしました。大会は各地区を勝ち抜いた8校が参加し、1回戦東城高校を4-0、準決勝は広島商業高校を2-0、そして決勝は広大附属福山と戦い、1-0といずれも零封で勝ち抜きました。軟式野球は秋季中国大会が行われないので県大会までですが、来シーズン春季県大会へのシード権を得て大きな弾みとなりました。OB会をはじめ多くの方にご声援いただきありがとうございます。

野球班部長 西原利典

### 広島に帰ってきませんか? ~ふるさとドクターネット広島のお知らせ

地域では医師不足が叫ばれて久しいですが、なかなか良い処方箋はありません。広島県でも、医師数自体は全国平均ではありますが、20代・30代の医師の減少が目立っています。広島県は長期的に医師不足が継続すると結論付けている報告書も出ています(松岡秀明「都道府県別医師不足の長期見通し-医師増員のネクストステージ」, 2009)。

「都会で修業したけど、そろそろ広島に戻って医者をしたいなあ」「親から帰って来いって言われてるけど、つてもないし…」なんて思っている、アカシアの方々はおられませんか??

広島県では2007年から「ふるさとドクターネット広島」というHPを立ち上げ、県内医療機関への就業に向けた情報提供など行っています。また、県内の初期臨床研修病院の紹介なども行い、若手の先生方を広島に

呼び込もうとしています。

これらHPの運営を始め、医師招致の総合窓口として、県、市町、県医師会、広島大学等が連携して、「広島県地域保健医療推進機構」を立ち上げ、我々も勤務しています。HPにご登録頂くと、我々が先生方のところを訪問して、勤務のご希望など伺うと共に、県内の医療状況の説明なども行っています。

年末年始に帰省して、広島の魅力を再発見された方も多いのではないのでしょうか。ぜひ一度HPをご覧ください。

検索エンジンから「ふるさとドクターネット広島」と検索 または <https://www.qq.pref.hiroshima.jp/asp/doctor-net/> なお、2012年1月末に全面リニューアル予定です。乞うご期待!!

臺(うてな)敏則(76回)  
古川 正愛(85回)



### 2012年版会員名簿 広告主一覧

- 【同期会】アカシア41期会、46回卒業生有志一同、アカシア49回同期会、51回生一同、アカシア62回、62回三金会、アカシア65回、75回有志一同、
- 【職域アカシア】中電工アカシア会、中電アカシア会、県庁アカシア会、県立広島病院救急救命センター、
- 【クラブアカシア】アカシア仙人ゴルフ会、広島大学附属高等学校野球班OB会、アカシアサッカークラブ、
- 【企業・個人(卒業回順)】(株)大本組、(株)住宅ケンコウ社、長沼商事(株)、広島管財(株)、千田興産(株)、賀茂鶴造(株)、(株)東広島ケーブルメディア、(株)大之木タイモ、島外科内科、松本ナツ子モダンバレエ研究所、岩国病院、五洋建設(株)、日域医院、キョーリツ(株)、(株)大方工業所、木村神経科内科クリニック、萬国製針(株)、ヒノ井医院、風呂中内科、日の丸産業(株)、メガネの田中チェーン(株)、(株)立芝、特別養護老人ホームたちばな苑、医療法人社団博愛会、(株)紀陽、フレッシュパントリー白鳥、財団法人広島県サッカー協会、(株)ガシユ、(株)合人社計画研究所、堀江会計事務所、フォンテ広島(株)、弁護士馬場則行、(株)さくら保険企画、新中央工業(株)、医療法人社団桃李会平和の里、広島運輸(株)、大和重工(株)、(株)ダイナミクス、慶友整形外科、医療法人翠和会養神館病院、石田外科、医療法人わかば会岩本内科医院、東洋紙業高速印刷(株)、(株)シティガス広島、しみず眼科医院、(株)中国新聞社、医療法人社団わかば町クリニック、井藤矯正歯科、(株)天阜、細川・内藤医院、(南)丸益西村屋、肥後医院、マルニヤ(株)、(南)敬愛ファーマシー、弁護士吉元徹也、ひろしま交流協同組合、(株)中栄ビジネスリサーチ、産婦人科長尾クリニック、一級建築士事務所感性舎、(株)広島東洋カーブ、医療法人社団曙会佐々木外科病院、(株)みづま工房、えほんてなブル、公認会計士延近正章、(株)ユニバーサルポスト、(株)シンコー、(株)アールツト、ササワ循環器科・内科、(株)山縣本店、オリックス生命保険(株)、ニッポハウス(株)、(株)マツコ、広島造形、つばめ交通(株)、成瀬歯科医院、医療法人社団楓会林病院、(株)コマックス、(株)融合事務所、折口内科医院、小児科さとうクリニック、クォーク、(株)ベリック、シンセイ(株)、医療法人わかみやメンタルクリニック、むぎ耳鼻咽喉科、D.P.C.第一入力センター、カルビー(株)、熊野税理士事務所、畑秀樹税理士事務所、(株)部谷工務店、(株)広重コープ事業部、医療法人隣田耳鼻咽喉科、広交グループ協同組合、(株)サンキョウメタル、クリエイトコミュニケーション、(株)キヨル・システム・ワークス、すずき歯科小児歯科、備北ななつか病院、医療法人正岡病院、(株)福屋、(株)千葉物流倉庫、堀口海運(株)、エス(株)、(株)島屋、(株)たきのぼり不動産

### あたたかく よりそう 笑顔と安心のサービス 株式会社 ウェルネット

代表取締役 菅 富當樹(75回卒)

〒730-0017 広島市中区鉄砲町5-7  
TEL(082)511-2323  
FAX(082)511-2324  
e-mail:kan@wellnet-web.com  
http://www.wellnet-web.com

やまびこデイサービスセンター十日市  
事業者番号 3470208533  
〒730-0805  
広島市中区十日市町1-5-18  
TEL(082)503-6611  
FAX(082)503-6612

中島 祐子(82回)さんからのご紹介



自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。
①栗原(加納) 順子(82回)
②東京都江東区
③高校時代は、チアの仲間と練習をしたり、前回登場の中島さんとジュース一杯で何時も粘り、ドーナツ屋さんでおしゃべりしたことなど、楽しかった思い出ばかりです。
今年5月、約9年間勤めたテレビ通販局・シヨップチャンネルを退職し、株式会社クリプロを設立しました。テレビ・ネット・新聞など、あらゆるメディアでの通販の仕事を行っています。通販って、かなり面白い世界です！
④仕事も育児も素敵にこなす、スーパードゥと親戚内では呼んでいる義理兄をご紹介します。

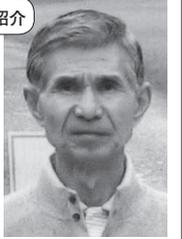
出てもうってま ええかいのま

会員リレー紹介 58

自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。

- ①お名前と卒業回数
②お住まい
③お仕事、自己紹介、母校の思い出
④次号登場の方との関係

中道加奈子(87回)さんからのご紹介



①古田 晃(48回)
②広島市中区
③小規模木材会社経営の3代目で、現役続行中です。
永年住んでおります地元への恩返しと引き受けた町内会長も13年となりました。高校卒業以来、半世紀余の歳月が流れましたが、プールなど余りなかった当時、家の前の本川で、泳ぎが身につくとき、室積臨海学校にコーチで参加したり、郊外マラソン行事などあり、文武両道で鍛えられた事を懐かしく思っております。
④同級生の奥さんで、才媛の後輩を紹介します。お母様は当時、家庭科の先生でした。

♡ビバ!アカシアカップル②♡



夫: 檜井 孝夫(72回)
妻: 檜井 純江(72回) 旧姓: 村主
1995年5月結婚(17年目)

馴れ初め: 中高で4年間クラスメート、共に広島大学卒業後、県病院とマツダに勤務中に結婚。長男次男が誕生。8年間の米国ミシガン大学留学中に三男長女が誕生。現在消化器外科医(広島大学病院)と4人の子供(高中小幼)の母親としてともに忙しい毎日です。
アカシアカップルで思うこと: 知り合ってから今まで35年、結婚生活はその半分。性格は逆でも価値観が近い。アカシアの校風は、我が家の家風です。
夫から一言: 充実した仕事とにぎやかで楽しい家庭との両立が活力の源です。
妻から一言: 子供たちが当時の主人と同じ年齢になったので附属のことをよく思い出します。大好きな学校でした。

アカシアライブラリー

寄贈資料の紹介

(2011年4月~11月)

(敬称略・受付順) 太字は寄贈者

資料のご提供ありがとうございます。
52回同期会報告「卒業以来四十九年目のクラス会レポート」 (52) 佐々木晶
大塚茂樹 著「まどうてくれ 藤居平一・被爆者と生きる」 大塚茂樹
広島市立基町高等学校冊子「次世代と描く原爆の絵(2010)」 (41) 新井俊一郎
美奈杜しづか(室塚あや子・60回)著「義経日記1」「義経日記2」(60) 室塚あや子
DVD「アカシア41期会思い出の地ツアー『原村巡り』」 (41) 西本是彦
小山清(旧教官)著「多山栄次郎伝」 (35) 多山壽夫

佐々木秀穂(41回)著「続日本紀辿り読み」 (41) 佐々木秀穂
猪原龍吉(49回)編「合唱曲集『アカシア』1959」 (53) 佐々木武
アルバム「昭和5年7月22日カッター遠漕記念写真」(22) 橋本菊三 ご遺族 橋本孝



橋本氏のアルバムより

事務局だより

◆運営会費納入のお願い

入会(卒業)後30年を経過した会員には運営会費納入をお願いしております。未納の方には、運営会費1万円の払込用紙を同封しておりますのでご協力をお願いいたします。

◆湯浅清治先生が定年退官

湯浅清治先生[社会・昭和60年着任]が3月に定年を迎えられます。

◆51回卒業50周年同窓会および60回還暦同窓会の皆様より、ご寄付を頂戴しました。ありがとうございました。

◆介護関係にお勤めの皆様へ。アカシア会員名簿には職業別索引を掲載していますが、将来、介護関係の索引も加えたいと考えています。介護のお仕事をされており索引に掲載をご希望の方はアカシア会事務局までお知らせください。

TEL082-253-5581 (10時~16時)

◆アカシア会会員数(1~101回)

(2011年12月5日現在・単位:人)

Table with 4 columns: 会員数, 15,033, 10,257, 4,776; 現存者, 10,966, 6,658, 4,308; 不明, 1,109, 783, 326; 物故者, 2,958, 2,816, 142

報 告

Table with 3 columns: 旧教員, 田中昭男, 平成23年9月2日; 旧教員, 長谷川孝士, 平成23年11月5日; 21回卒, 横井 鎮, 平成23年1月22日; 22回卒, 横井 武, 平成21年7月30日; 24回卒, 後藤 典夫, 平成23年8月23日; 26回卒, 藤原 幸郎, 平成23年7月31日; 27回卒, 加藤 健三, 平成18年12月10日; 28回卒, 河野 讓吉, 平成18年3月22日; 29回卒, 本川 聡, 平成22年7月1日; 31回卒, 千葉 諭吉, 平成23年8月27日; 32回卒, 島本 隆視, 平成23年9月6日; 33回卒, 村上 英夫, 平成17年12月30日; 34回卒, 平岩 美秀, 平成23年11月2日

Table with 3 columns: 35回卒, 荒川 壯二, 平成21年7月16日; 36回卒, 嶋元 貴, 平成19年8月28日; 37回卒, 鳴津 務, 平成22年10月21日; 38回卒, 赤松 光, 平成23年7月26日; 39回卒, 飯井 尚雄, 平成23年1月24日; 40回卒, 永海(藤村)幸教, 平成21年8月1日; 41回卒, 木戸 勝彦, 平成23年6月26日; 42回卒, 藤永(高橋)守, 平成16年10月18日; 43回卒, 徳永(岩島)素子, 平成23年7月13日

Table with 3 columns: 44回卒, 中井 端夫, 平成23年6月10日; 45回卒, 森島 弘仁, 平成23年11月21日; 46回卒, 栗田(山本)順子, 平成21年5月6日; 47回卒, 西平 俊二, 平成23年11月8日; 49回卒, 青山 茂弘, 平成23年6月14日; 51回卒, 柳田(坂木)みどり, 平成22年6月23日; 56回卒, 黒川 允男, 平成23年4月24日; 58回卒, 源氏田(田中)啓子, 平成23年11月11日; 61回卒, 松村 茂次郎, 平成23年1月4日; 63回卒, 山本 国雄, 平成23年10月11日; 76回卒, 川本 健, 平成21年12月24日; 83回卒, 田辺(田川)淑子, 平成23年3月30日; 84回卒, 砂田 龍吾, 平成23年7月29日; 永江 尚, 平成21年10月12日; 加藤 隆宏, 平成23年7月5日

# 12月例会レポート

## 開会挨拶

向井恒雄 アカシア会会長 (50回)

皆さんに月例会に来てもらって、元気がもらえるような会にしていきたい。来年4月から2015年の創立110周年記念の準備を始めて、今後のアカシア会を若い人達に受け継いでいきたい。是非若い人達の参加をお願いしたい。

## 「サクソフォンによるミニコンサート」

広島大学附属高等学校教員 原 寛暁先生

原寛暁先生は、1995年に本校赴任以来管弦楽班の顧問として、毎年定期演奏会、年末の東京でのオーケストラフェスタなどにおいて、素晴らしい演奏を指揮しておられます。

「去年の月例会では、管弦楽班の高IIが演奏し、気楽に参加できましたが、今年はなぜか自分が演奏する羽目になってしまいました。昔からアルトサクソフォンは吹いていましたが、普段は生徒の指導が主なので、まともに演奏するのは久しぶりです。」

「アマポーラ」、「サマータイム」と演奏後、「普段は生徒の指導で、ダメ出しばかりしていますが、演奏する大変さが身に沁みます」。続いて「枯葉」、「ストレンジジャー イン パラダイス」、「テイクファイブ」、「追憶のテーマ」、最後に「ミステリー」。「緊張しました



サクソフォン演奏の原先生

が、楽しく演奏できました。演奏するのも楽しいものだと改めて感じました。」少し薄暗く、とてもムーディーな雰囲気の中、映画等でとても馴染みのある曲を、甘いサクスの音色にのせて奏でいただきました。会場一同、原先生の演奏にうっとりしました。

## 乾杯の挨拶 加藤義明 (44回)



乾杯の加藤氏(44回)

アカシアのメンバーが前に出て、前に出ない人は後ろで支えて広島のことを考えていかなければいけないと思う。アカシアが核になって湯崎知事を支えながら、広島を元気にしていってほしい。広島ならびに全国のアカシア会員の健康と素晴らしい年が来ることを祈念して乾杯！

## ビンゴゲーム

たくさんの方に豪華景品を提供していただき、この場を借りてお礼を申しあげます。景品のあまりの豪華さにビンゴカードが飛ぶように売れました。

最初にビンゴになった方は、平野希代子氏(95回)で、オープンレンジを獲得されました。2番手は鈴木清氏(50回)で5,000円相当の御節料理券、3番手は馬場則行氏(53回)で海苔、4番手は高橋裕子氏(67回)でかまど・羽釜セット、5番手は天方麻里恵氏(95回)で萩焼の茶器を獲得されました。

12月17日 森川真吾(79回)



## 12月例会出席者 (敬称略71名)

[教員] 原 寛暁、(41)菊地日朗、(43)後藤吟子、西山英明、(44)加藤義明、(48)中田研一、(49)土井田 泰、原田瑠美、(50)井藤壯太郎、小川玲子、斎藤百合子、鈴木 清、原田玲、向井恒雄、吉中康磨、(51)上土康弘、鼻岡甫調、(53)馬場則行、山手愨正、(55)近森 翠、(57)神鳥京子、佐々木隆雄、清水さえ子、天島純子、(59)三好 新、(67)高橋裕子、高橋浩一、(69)津賀一弘、(70)越智ようこ、(73)馬本 勉、木村千佳子、西原利典、(74)大田陽子、(75)菅富誉樹、杉山真一郎、(79)大田健太郎、大野陽子、大山磨紗美、岡野正恵、織田輝樹、梶見幸広、島末 洋、田上美和、武田和久、ターナー仁美、田中聖真、端野 真、森川真吾、山本訓裕、(80)加用雅信、(81)菅 彩路、(82)森直樹、吉井良平、(84)神鳥 静、(85)栗栖史臣、(86)河井猛、樽谷美保、濱野年啓、平岡誠治、水野昌典、(87)中道加奈子、(88)野口知子、(92)濱西 慧、(95)天方麻里恵、平野希代子、八谷修平、(98)趙継佳、増田沙季、(99)石原含英、鳴川貴大、(中3)森川みなみ

実は会報は毎月発行  
しているんです!!

または、お電話(082-253-5581)、Eメールakashia@fuhs.hiroshima-u.ac.jp にてお願いします。

(お申込いただいた方にはバックナンバーをお送りします。)

1月と7月発行の全国版会報は全会員の皆様にお送りしていますが、それ以外の月にも月例会会報を発行しています。年鑑購読料2,000円をお支払いくだされば、1月と7月を除く月にも会報をお届けします。

購読のお申込は、アカシア会ホームページ<http://www.acacia100.net/> から、

平成23年1月号から12月号  
までにご登場いただ方々です。

## 浩然の気

久米 公先生→中本 薩雄先生→中谷 雄治先生→池田 克文先生

出てもうてもええかいのお

本間 尚子(93)→高橋 葉子(93)→田中 聖真(79)→山田 亮(55)→河口 浩之(70)→上綱 まりえ(89)→

川村 有貴(88)→長光 玲加(87)→吉貴 隆人(85)→七條 智子(86)→瀬尾 淳(85)→中道 加奈子(87)

村上 處直(43)→山田 祐子(67)→新見 博(46)→松尾 康二(46)→寺本 知生(63)→栗屋 幸一(63)→梶原 俊毅(86)→山崎 正弘(75)→

三戸 晶子(83)→新谷 智史(87)→中西 美紗(87)→中島 祐子(82)

## ピバ! アカシアカップル

内藤 豊(50)・由美子(54)→赤坐正樹(76)・千幸(76)→遠藤 芳徳(43)・公子(47)→手島 由裕(74)・香苗(74)→青木 省三(61)・三恵子(61)→

出原 賢治(67)・真理加(66)→阪本 昌成(54)・茂子(57)

(敬称略)

飲酒は20歳を過ぎてから。

## 常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31

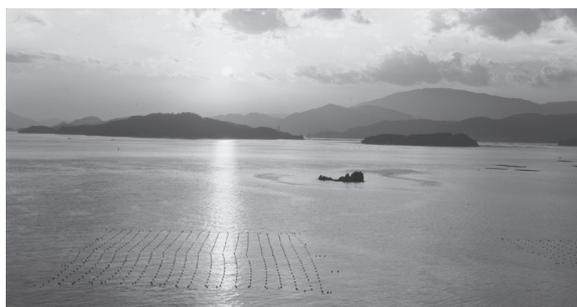
TEL (082) 422-2121

東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸薬町1-12-9

TEL (03) 3668-4111

# 賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海  
君がいて 宇宙が歌つて  
果てもなく 夢かりたてる  
飲ぶの歌 辛さその日も